

SACOM USB Device Driver

共通インストールマニュアル Ver6.1

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1、USB-485 RJ45-T4P | 2、USB-485 RJ45-DS9P |
| 3、USB-485I RJ45-T4P | 4、USB-485I RJ45-DS9P |
| 5、USB-422 RJ45-T10P | 6、USB-422 RJ45-DS9P |
| 7、USB-422I RJ45-T10P | 8、USB-422I RJ45-DS9P |
| 9、USB-422I SSN-1 | 10、USB-422I SSN-2 |
| 11、USB-232C RJ45-DS9P | 12、USB-232C RJ45-T10P |
| 13、USB-232C 各種 | 14、USB-232C IRP-2 |
| 15、USB-485I XLR332 | 16、UR-485C |
| 17、USB-485 DS15P | 18、USB-485I-DCK |
| 19、USB-422 DS15P | |

【重要事項】本書は、Windows O/S 操作方法を既にご存じの方を対象に、O/S 初期状態からの基本的なインストール手順を示しますが、その細部に渡って全てを網羅するものではありません。また、インストール設定手順は各 PC のサービスパック（SP）の違いや、既設定済みソフトウェア等により O/S 内部レジストリ変化等により出現ウィンドやその表示状態が異なる場合がありますので、個々のパソコン環境による違いについて説明は再現も難しく非常に困難ですので行っておりません。その際にご必要に応じてマイクロソフト等へお問い合わせ願います。本機に直接関するご質問は弊社へお願いいたします。当社は、本製品のインストールを含む機器運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、理由如何に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承下さい。

【32bit 対応】

「Windows 2000」
「Windows-XP」
「Windows Vista」
「Windows 7」
「WindowsServer 2003」
「WindowsServer 2008」
「WindowsServer 2008 R2」

【64bit 対応】

「Windows-XP」
「Windows Vista」
「Windows 7」
「WindowsServer 2003」
「WindowsServer 2008」

■ 添付のCD-ROMには、Windows 98、ME のドライバソフトが入っておりませんので、ご必要な方は当社ホームページよりダウンロードをお願い致します。



システムサコム工業株式会社

このマニュアルは <http://www.sacom.co.jp> からダウンロードできます。

【 目 次 】

WINDOWS 98 でのインストール及び設定	2
インストール作業手順	2
COM ポートの設定	4
設定手順	4
WINDOWS ME でのインストール及び設定	7
インストール概要	7
インストール作業手順	7
設定手順	8
WINDOWS 2000 でのインストール及び設定	11
インストール作業手順	11
WINDOWS XP でのインストール及び設定	14
インストール作業手順	14
COM ポートの設定	17
設定手順	17
WINDOWS VISTA でのインストール及び設定	19
インストール作業手順	19
COM ポートの設定	27
COM 番号の設定変更手順	28
WINDOWS 7 64BIT （PRO および HOME 共通）	31
インストール概要	31
COM ポートの設定	38
■ 正常動作確認方法	43
■ 不具合解決方法	44
サポートについて	45

Windows 98 でのインストール及び設定

- 添付のCD-ROMには、Windows 98 のドライバソフトが入っておりませんので、ご必要な方は当社ホームページよりダウンロードをお願い致します。

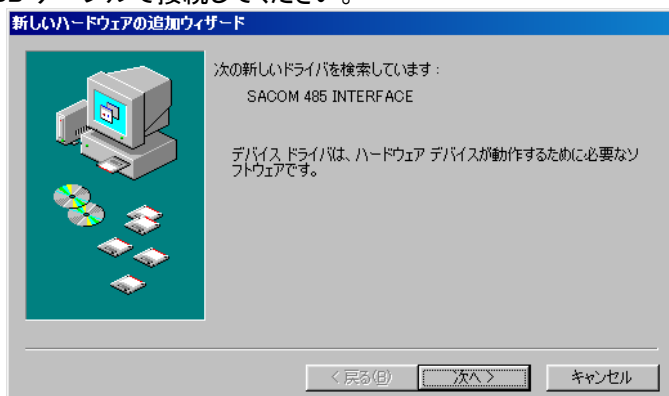
インストール概要

本シリーズを Windows システムで使用するためには初めにドライバのインストール作業をしなければなりません。このインストール作業はお使いのシステムで御使用開始時に一回だけ行います。

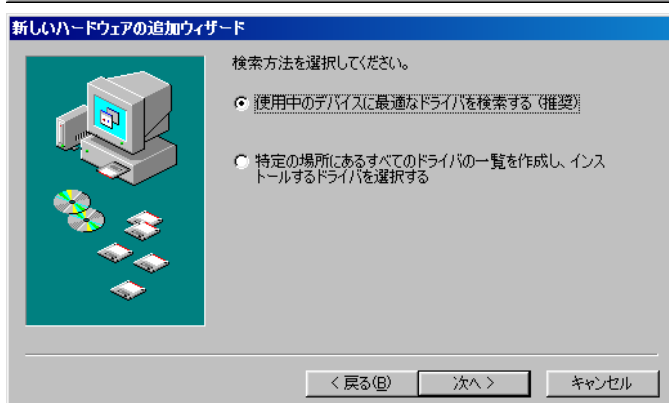
- ※ インストール作業時には本体(コンバータ)、付属の USB ケーブル、付属の CD-ROM(ドライバディスク)およびご使用の Windows システムのコンピュータをご用意下さい。
- ※ マウスの操作や基本的なコンピュータの操作についてはご説明しません。ご使用のコンピュータの取扱説明書などをご参照ください。
- ※ 画面上のご説明で「ボタンを押す」とは、マウスなどのポインティングデバイスでマウスカーソルをボタン上に置き、左クリックする事を意味します。その他、ご説明中でコンピュータの慣用的な用語を使用することがあります。
- ※ 画面のご説明は比較的標準的な設定で行いますが、お使いのシステムの設定によっては若干異なる場合があります。

インストール作業手順

先ずご使用のコンピュータの Windows システムを完全に起動してください。起動しましたら、付属の CD-ROM をドライブに挿入してください。本体の USB コネクタ(B タイプ)と御使用のコンピュータの USB コネクタ(A タイプ)を付属の USB ケーブルで接続してください。



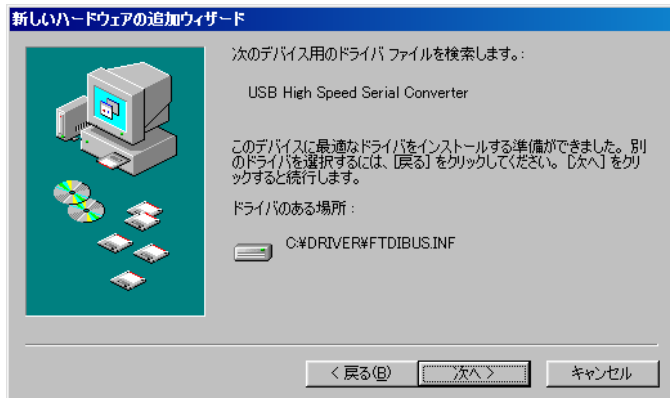
接続すると次の様な画面が表示されます
「次へ(N)」ボタンを押してください。



この画面が表示されたら「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をチェックして「次へ>」ボタンを押して下さい。



「検索場所の指定(L)」をチェックしてください。参照ボタンを押すか、直接入力で付属のCD-ROM 内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。
次へボタンを押してください。



次へボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



次の画面が表示されたら完了を押して下さい。
※ まだインストールは完全に終了しておりません。

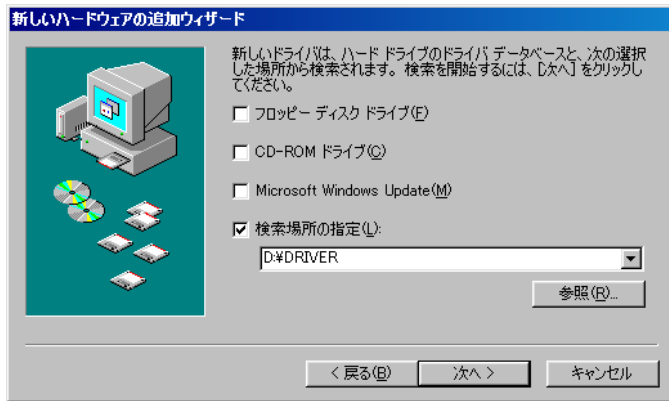
しばらくするとつぎの様な画面が表示されます。



次へボタンを押してください。



同様に「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をチェックして「次へ」ボタンを押して下さい。



「検索場所の指定(L)」をチェックしてください。参照ボタンを押すか、直接入力で付属のCD-ROM内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。
次へボタンを押してください。



次へボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



次の画面が表示されたら完了を押して下さい。
これでドライバのインストールは完了です。

COM ポートの設定

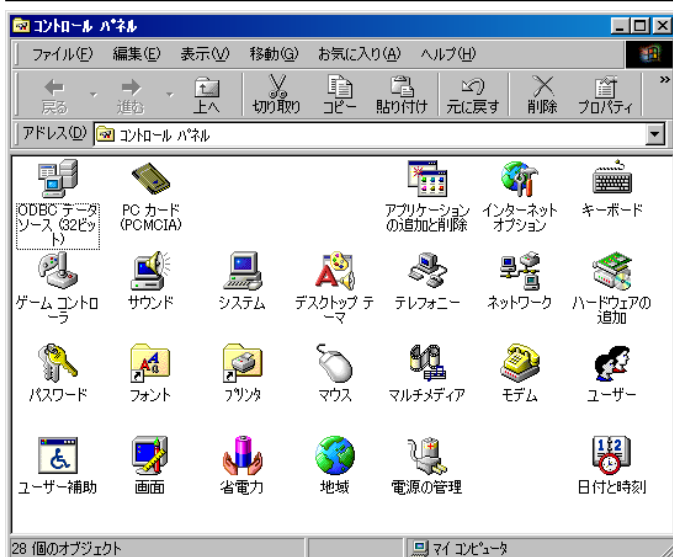
本変換器のドライバは仮想 COM ポートドライバとなっております。従来の COM ポート(RS-232C シリアルポート)と同様の使用方法を用います。COM ポートを識別するためには COM 番号を使用します。

例 COM1

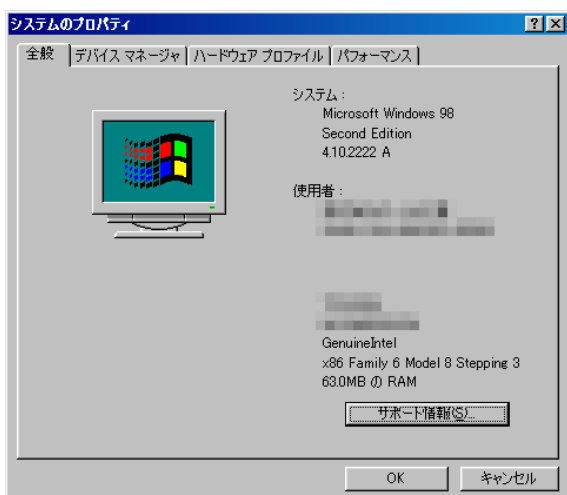
本変換器は初回接続時に空きポートに自動的に割り振りますが、後からシステムの都合に合わせて変更することができます。ここではこの COM ポート番号の変更方法についてご説明します。本変換器には装置固有の番号があり、一度接続を外してもこの設定値は固有の番号の記録と照合されて次回接続時にも同一の COM 番号が維持されます。複数台ご使用の場合は COM 番号が重ならない様に設定してください。

設定手順

ご使用の変換器をシステムに接続した状態で作業を開始してください。外した状態ですと、変更作業をする事はできません。システム左下のスタートからコントロールパネルを選択して下さい。



「システム」アイコンをダブルクリックしてください。



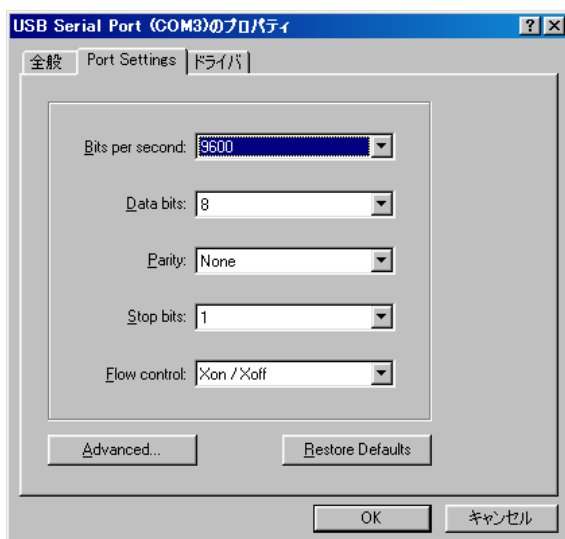
上の部分にある「デバイスマネージャ」タブを選択してください。



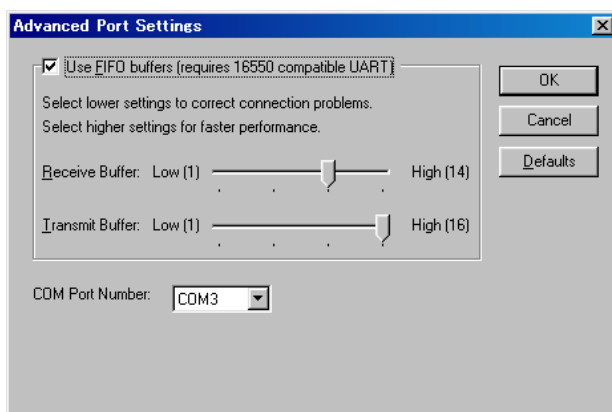
「Ports(COM と LPT)」を開いて中から「USB Serial Port(COM3)」を選んでダブルクリックしてください。
※ 初めの COM 番号はシステムによって異なります。



「Port Settings」タブを選択してください。



「Advanced…」ボタンを押して下さい。



COM ポート番号を選んでください。
これで設定は完了です。

OK ボタンで開いているウィンドウを閉じてください。OK ボタンが無いウィンドウは右上にある  を押して閉じてください。

Windows Me でのインストール及び設定

- 添付のCD-ROMには、Windows Me のドライバソフトが入っておりませんので、必要な方は当社ホームページよりダウンロードをお願い致します。

インストール概要

本シリーズを Windows システムで使用するためには初めにドライバのインストール作業をしなければなりません。このインストール作業はお使いのシステムで御使用開始時に一回だけ行います。

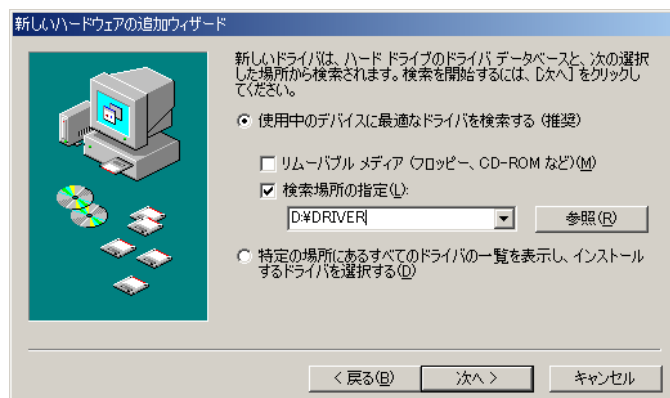
- ※ インストール作業時には本体(コンバータ)、付属の USB ケーブル、付属の CD-ROM(ドライバディスク)およびご使用の Windows システムのコンピュータをご用意下さい。
- ※ マウスの操作や基本的なコンピュータの操作についてはご説明しません。ご使用のコンピュータの取扱説明書などをご参照ください。
- ※ 画面上のご説明で「ボタンを押す」とは、マウスなどのポインティングデバイスでマウスカーソルをボタン上に置き、左クリックする事を意味します。その他、ご説明中でコンピュータの慣用的な用語を使用することがあります。
- ※ 画面のご説明は比較的標準的な設定で行いますが、お使いのシステムの設定によっては若干異なる場合があります。

インストール作業手順

先ずご使用のコンピュータの Windows システムを完全に起動してください。起動しましたら、付属の CD-ROM をドライブに挿入してください。本体の USB コネクタ(B タイプ)と御使用のコンピュータの USB コネクタ(A タイプ)を付属の USB ケーブルで接続してください。

接続すると以下のような選択画面が表示されます。

- 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」
をチェックして
「次へ>」ボタンを押して下さい。



「検索場所の指定(L)」をチェックしてください。参照ボタンを押すか、直接入力で付属の CD-ROM 内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。次へボタンを押してください。



次へボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



次の画面が表示されたら完了を押して下さい。

まだインストールは完全に終了しておりません。
この後しばらく自動的に作業を続けますがその間一時的にコンピュータの操作ができなくなります。
操作が可能になった時点でインストールが完了ですが、それまでの間に前記の様な画面が表示された場合は同様の手順でドライバの場所を指定してください。

COM ポートの設定

本変換器のドライバは仮想 COM ポートドライバとなっております。従来の COM ポート(RS-232C シリアルポート)と同様の使用方法を用います。COM ポートを識別するためには COM 番号を使用します。

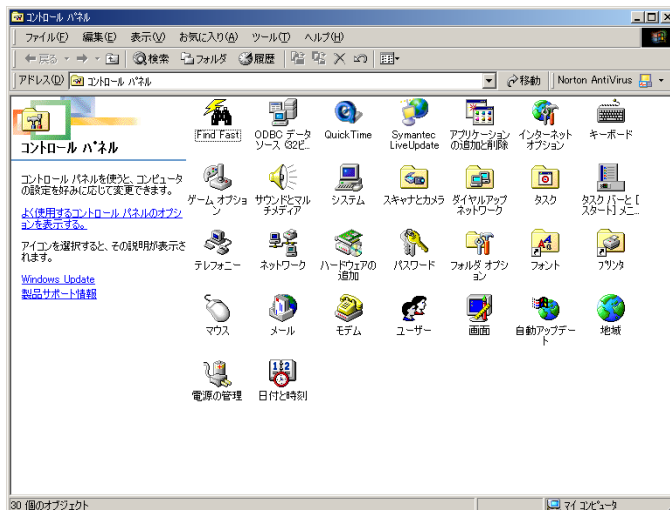
例 COM1

本変換器は初回接続時に空きポートに自動的に割り振りますが、後からシステムの都合に合わせて変更する事ができます。ここではこの COM ポート番号の変更方法についてご説明します。本変換器には装置固有の番号があり、一度接続を外してもこの設定値は固有の番号の記録と照合されて次回接続時にも同一の COM 番号が維持されます。複数台ご使用の場合は COM 番号が重ならない様に設定してください。

設定手順

ご使用の変換器をシステムに接続した状態で作業を開始してください。外した状態ですと、変更作業をする事はできません。

システム左下のスタートからコントロールパネルを選択して下さい。

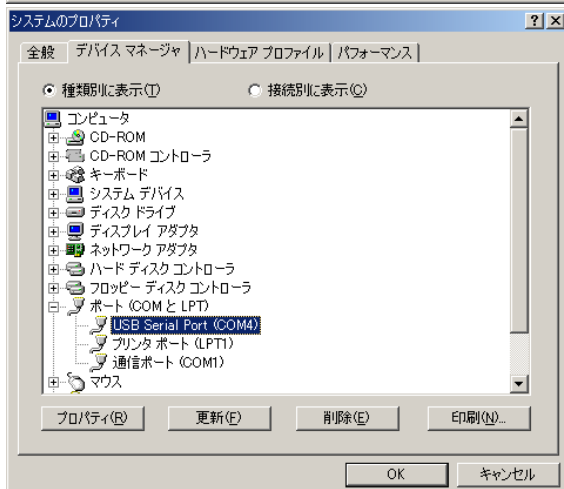


「システム」アイコンをダブルクリックしてください。

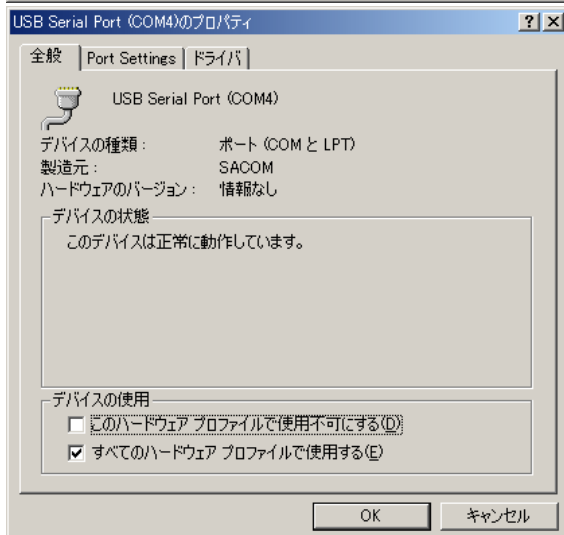
USB シリーズ Device driver インストールマニュアル



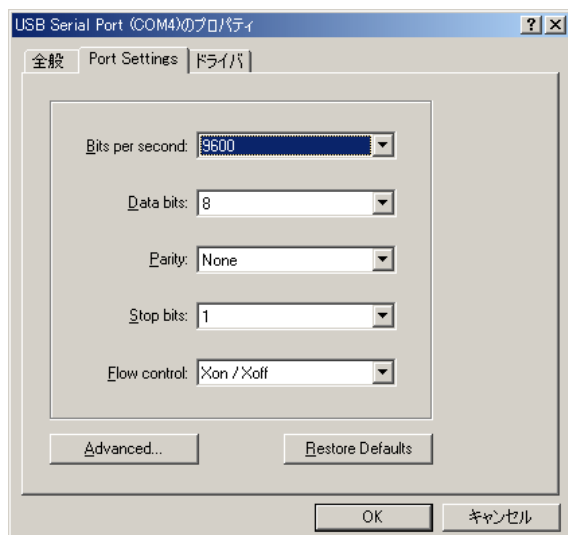
上の部分にある「デバイスマネージャ」タブを選択してください。



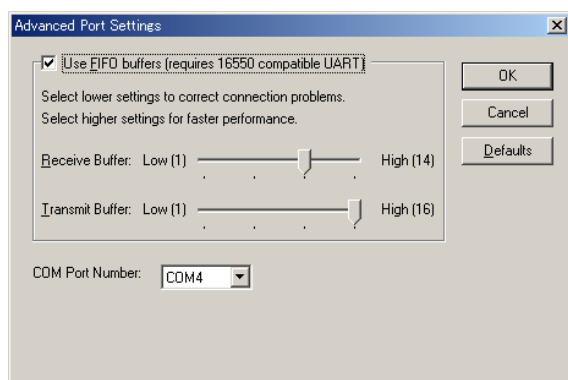
「Ports(COM と LPT)」を開いて中から「USB Serial Port(COM□)」を選んでダブルクリックしてください。
※ 初めの COM 番号はシステムによって異なります。



「Port Settings」タブを選択してください。



「Advanced…」ボタンを押して下さい。



COM ポート番号を選んでください。
これで設定は完了です。

OK ボタンで開いているウィンドウを閉じてください。

OK ボタンが無いウィンドウは右上にある  を押して閉じてください。

Windows 2000 でのインストール及び設定

インストール概要

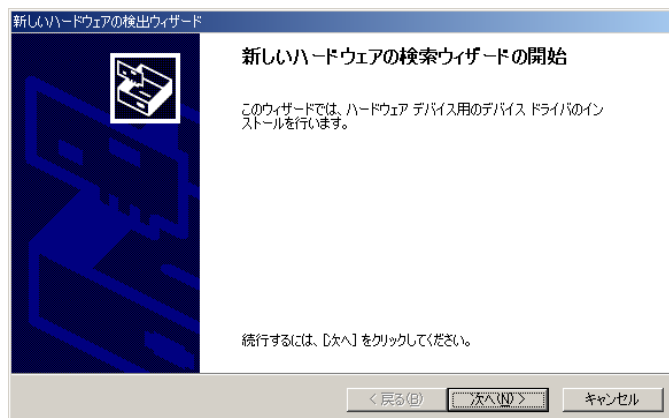
本シリーズを Windows システムで使用するためには初めにドライバのインストール作業をしなければなりません。このインストール作業はお使いのシステムで御使用開始時に一回だけ行います。

- ※ インストール作業時には本体(コンバータ)、付属の USB ケーブル、付属の CD-ROM(ドライバディスク)およびご使用の Windows システムのコンピュータをご用意下さい。
- ※ マウスの操作や基本的なコンピュータの操作についてはご説明しません。ご使用のコンピュータの取扱説明書などをご参照ください。
- ※ 画面上のご説明で「ボタンを押す」とは、マウスなどのポインティングデバイスでマウスカーソルをボタン上に置き、左クリックする事を意味します。その他、ご説明中でコンピュータの慣用的な用語を使用することがあります。
- ※ 画面のご説明は比較的標準的な設定で行いますが、お使いのシステムの設定によっては若干異なる場合があります。

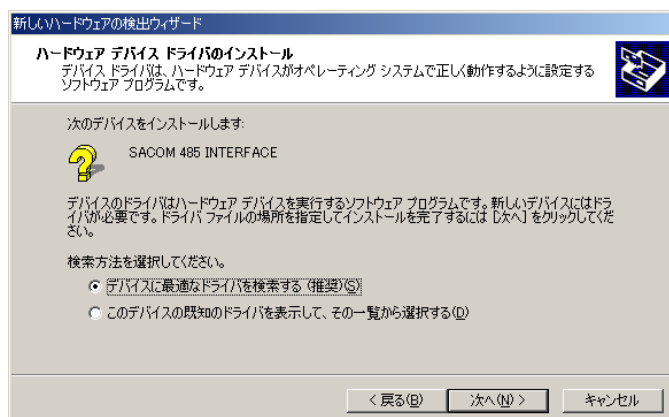
インストール作業手順

先ずご使用のコンピュータの Windows システムを完全に起動してください。起動しましたら、付属の CD-ROM をドライブに挿入してください。本体の USB コネクタ(B タイプ)と御使用のコンピュータの USB コネクタ(A タイプ)を付属の USB ケーブルで接続してください。

接続すると次の様な画面が表示されます

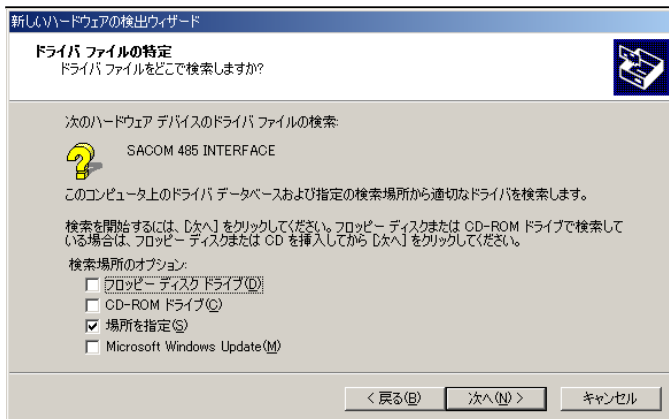


「次へ(N)」ボタンを押してください。

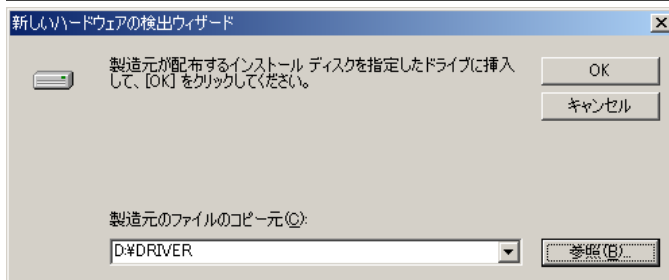


「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。

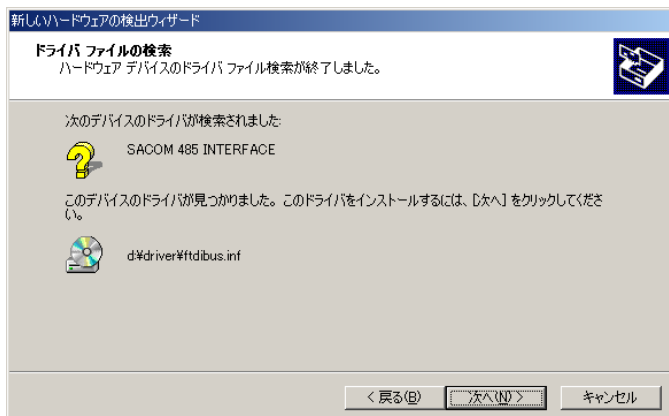
USB シリーズ Device driver インストールマニュアル



「場所を指定(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。



この画面が表示されたら参照ボタンを押すか、直接入力で付属のCD-ROM内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。
OK ボタンを押してください。



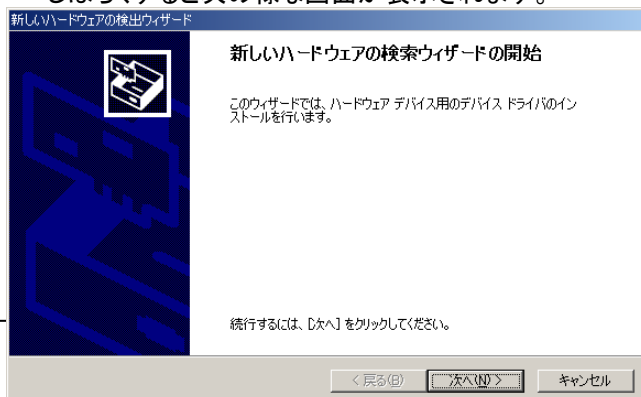
「次へ(N)」ボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



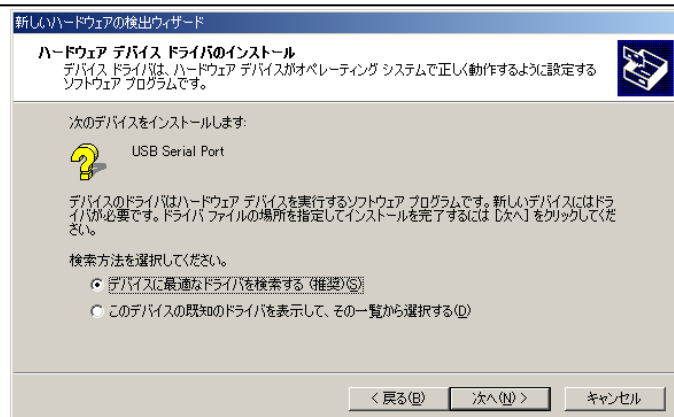
次の画面が表示されたら完了を押して下さい。
※ まだインストールは完全に終了していません。

しばらくすると次の様な画面が表示されます。

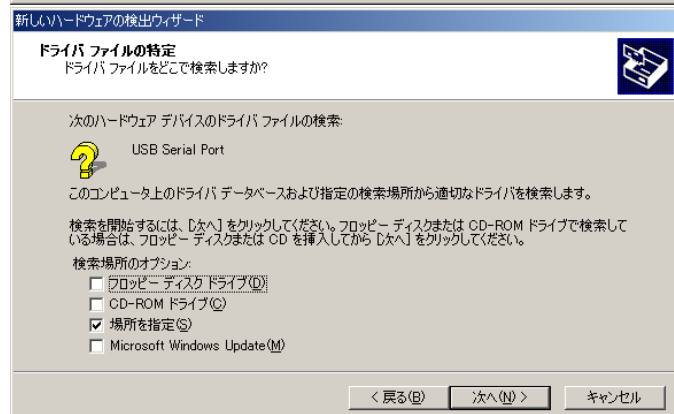


次へ(N)」ボタンを押してください。

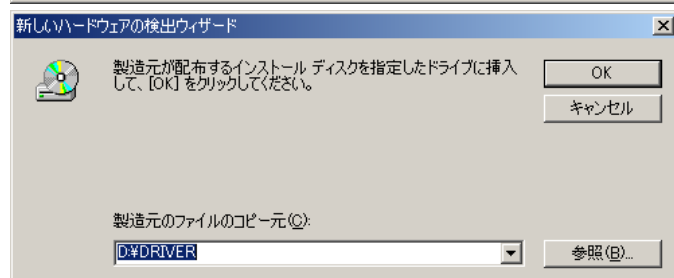
USB シリーズ Device driver インストールマニュアル



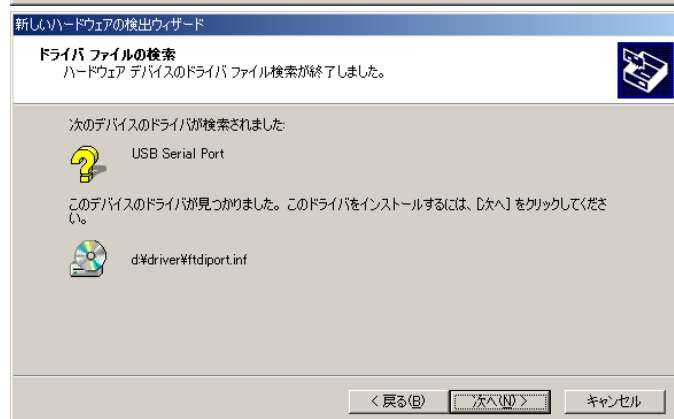
「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。



「場所を指定(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。

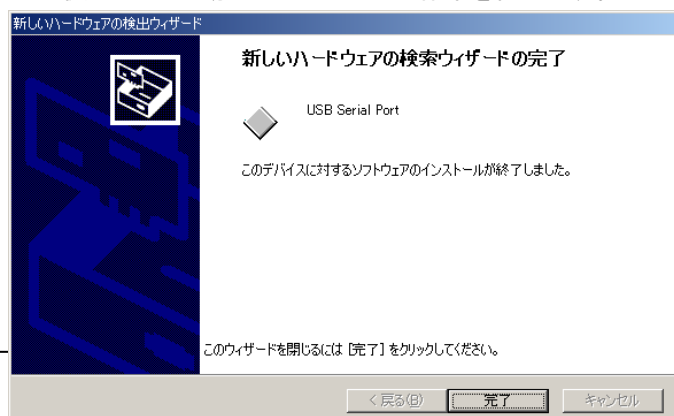


この画面が表示されたら参照ボタンを押すか、直接入力で付属の CD-ROM 内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。
OK ボタンを押してください。



「次へ(N)」ボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



この画面が表示されたら完了を押して下さい。
これでドライバのインストールは完了です。

Windows XP でのインストール及び設定

インストール概要

本シリーズを Windows システムで使用するためには初めにドライバのインストール作業をしなければなりません。このインストール作業はお使いのシステムで御使用開始時に一回だけ行います。

- ※ インストール作業時には本体(コンバータ)、付属の USB ケーブル、付属の CD-ROM(ドライバディスク)およびご使用の Windows システムのコンピュータをご用意下さい。
- ※ マウスの操作や基本的なコンピュータの操作についてはご説明しません。ご使用のコンピュータの取扱説明書などをご参照ください。
- ※ 画面上のご説明で「ボタンを押す」とは、マウスなどのポインティングデバイスでマウスカーソルをボタン上に置き、左クリックする事を意味します。その他、ご説明中でコンピュータの慣用的な用語を使用することがあります。
- ※ 画面のご説明は比較的標準的な設定で行いますが、お使いのシステムの設定によっては若干異なる場合があります。

インストール作業手順

先ずご使用のコンピュータの Windows システムを完全に起動してください。起動しましたら、付属の CD-ROM をドライブに挿入してください。本体の USB コネクタ(B タイプ)と御使用のコンピュータの USB コネクタ(A タイプ)を付属の USB ケーブルで接続してください。

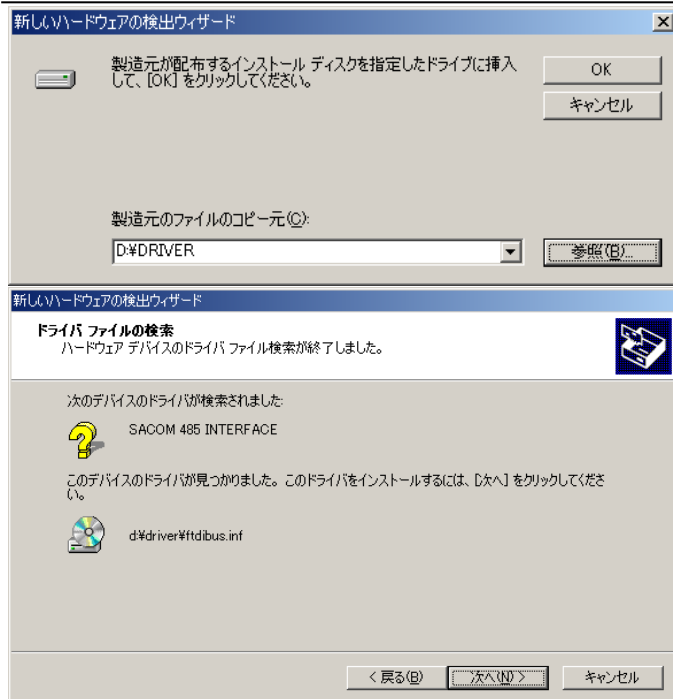
接続すると次の様な画面が表示されます



「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。

「場所を指定(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。

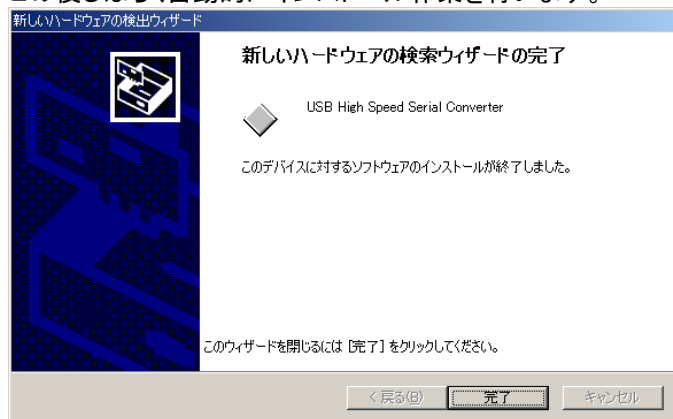
USB シリーズ Device driver インストールマニュアル



この画面が表示されたら参照ボタンを押すか、直接入力で付属の CD-ROM 内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。
OK ボタンを押してください。

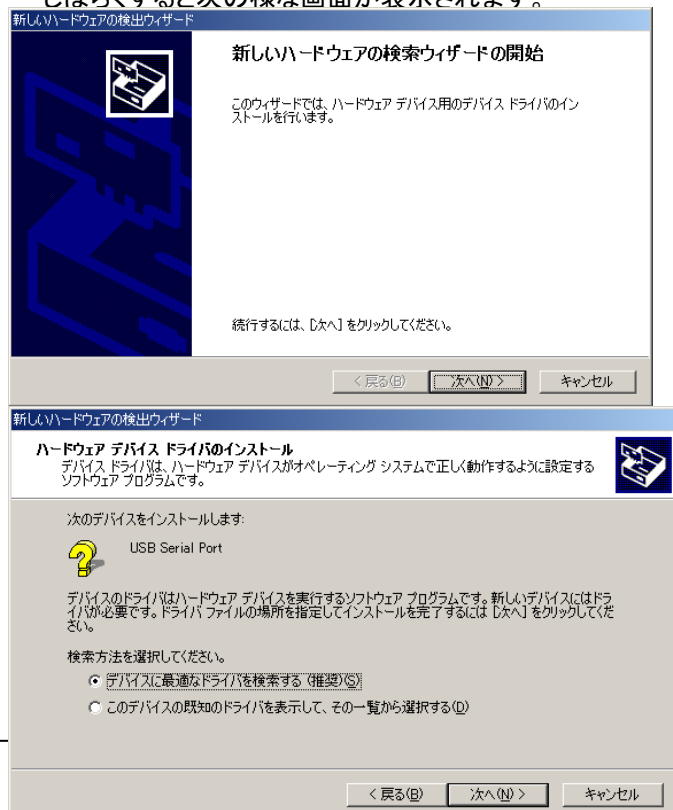
「次へ(N)」ボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



次の画面が表示されたら完了を押して下さい。
※ まだインストールは完全に終了しておりません。

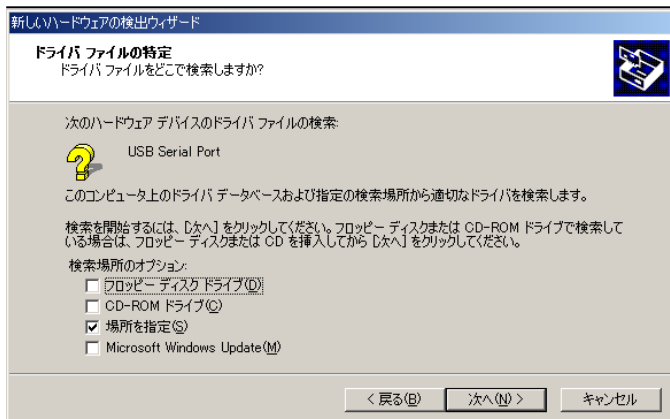
しばらくすると次の様な画面が表示されます。



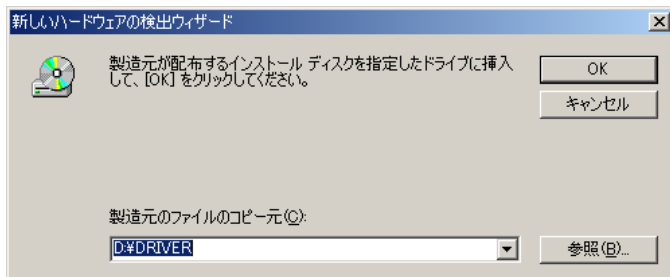
次へ(N)」ボタンを押してください。

「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。

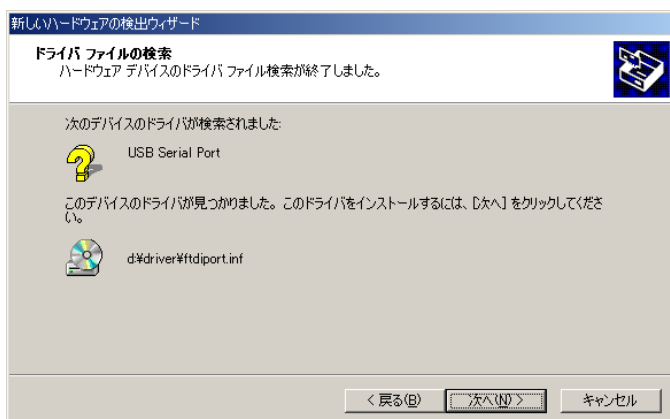
USB シリーズ Device driver インストールマニュアル



「場所を指定(S)」を選んで「次へ(N)」ボタンを押してください。

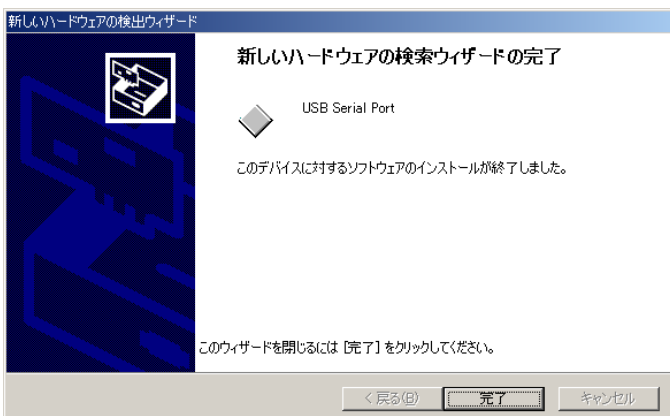


この画面が表示されたら参照ボタンを押すか、直接入力で付属の CD-ROM 内の「DRIVER」フォルダ(ディレクトリ)を選択してください。
OK ボタンを押してください。



「次へ(N)」ボタンを押してください。

この後しばらく自動的にインストール作業を行います。



この画面が表示されたら完了を押して下さい。
これでドライバのインストールは完了です。

COM ポートの設定

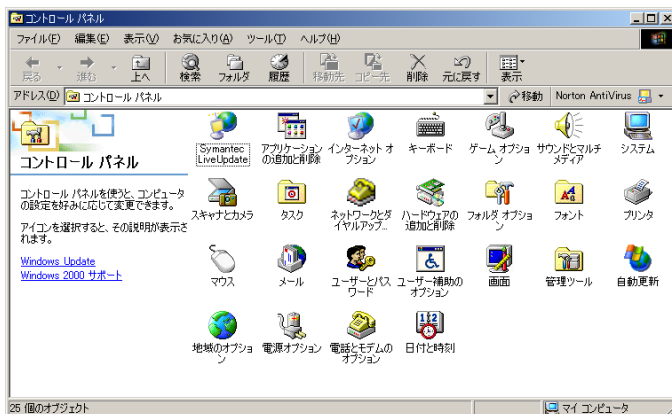
本変換器のドライバは仮想 COM ポートドライバとなっております。従来の COM ポート(RS-232C シリアルポート)と同様の使用方法を用います。COM ポートを識別するためには COM 番号を使用します。

例 COM1

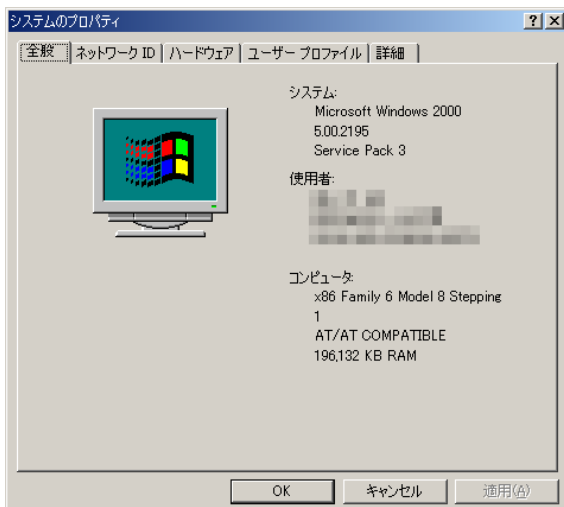
本変換器は初回接続時に空きポートに自動的に割り振りますが、後からシステムの都合に合わせて変更することができます。ここではこの COM ポート番号の変更方法についてご説明します。本変換器には装置固有の番号があり、一度接続を外してもこの設定値は固有の番号の記録と照合されて次回接続時にも同一の COM 番号が維持されます。複数台ご使用の場合は COM 番号が重ならない様に設定してください。

設定手順

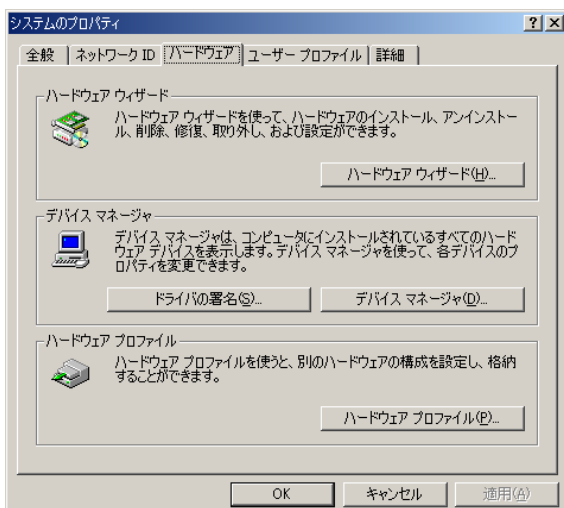
ご使用の変換器をシステムに接続した状態で作業を開始してください。外した状態ですと、変更作業をする事はできません。システム左下のスタートからコントロールパネルを選択して下さい。



「システム」を選択してダブルクリックして下さい。

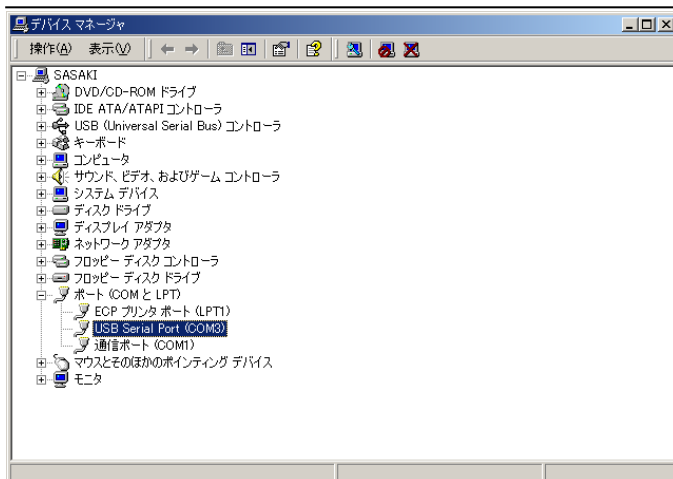


上の部分にある「ハードウェア」タブを選択してください。



「デバイスマネージャ(D)」ボタンを押して下さい。

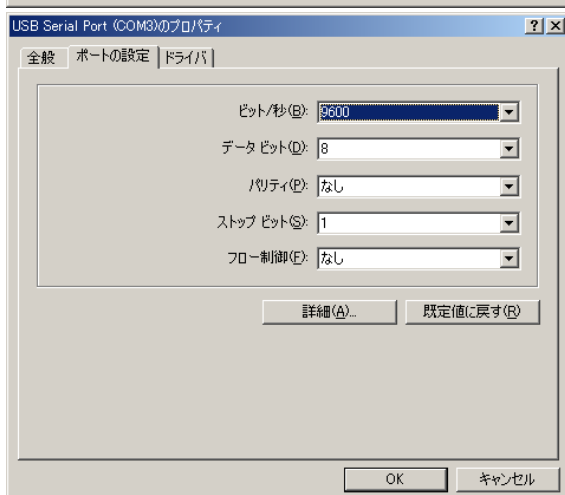
USB シリーズ Device driver インストールマニュアル



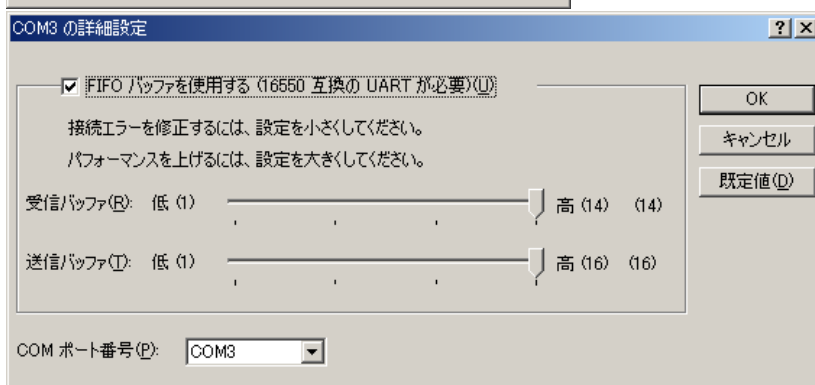
「ポート(COM と LPT)」を開いて中から「USB Serial Port(COM□)」を選んでダブルクリックしてください。
※ 初めの COM 番号はシステムによって異なります。



「ポートの設定」タブを選択してください。



「詳細(A)」ボタンを押して下さい。



COM ポート番号を選んでください。

これで設定は完了です。

OK ボタンで開いているウィンドウを閉じてください。

OK ボタンが無いウィンドウは右上にある  を押して閉じてください。

Windows Vista でのインストール及び設定

インストール概要

本シリーズを Windows システムで使用するためには初めにドライバのインストール作業をしなければなりません。このインストール作業はお使いのシステムで御使用開始時に一回だけ行います。

Vista は一度も USB シリーズをインストールしたことの無い状況では、XP 等と同様に 2 回「USB Serial Converter と USB Serial Port」のドライバインストールが行われます。しかし一度 USB シリーズ（もしくは他社の同等製品）をインストールした経緯があると自動的に 1 回目のインストール「USB Serial Converter」が行われ（目視確認できません）、目視できるのは 2 回目の「USB Serial Port」インストール状況です。要するに、1 回だけの「USB Serial Port」インストールに見えます。この事を後記のインストール手順をお読み戴く際にご留意ください。

- ※ インストール作業時には本体(コンバータ)、付属の USB ケーブル、付属の CD-ROM(ドライバディスク)およびご使用の Windows システムのコンピュータをご用意下さい。
- ※ マウスの操作や基本的なコンピュータの操作についてはご説明しません。ご使用のコンピュータの取扱説明書などをご参照ください。
- ※ 画面上のご説明で「ボタンを押す」とは、マウスなどのポインティングデバイスでマウスカーソルをボタン上に置き、左クリックする事を意味します。その他、ご説明中でコンピュータの慣用的な用語を使用することがあります。
- ※ 画面のご説明は比較的標準的な設定で行っていますが、お使いのシステムの設定（SP: サービスパックの導入等の更新状況）によっては多少異なる場合があります。

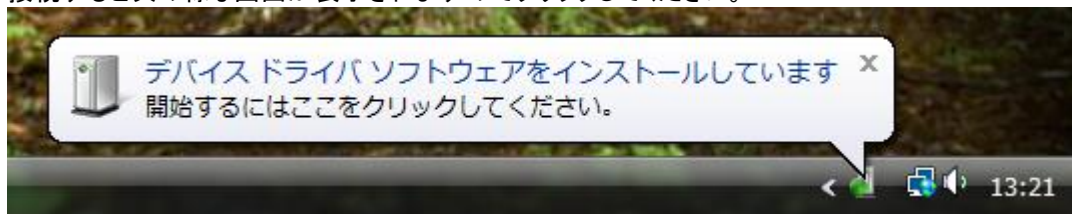
インストール作業手順

まず、ご使用のコンピュータの Windows システムを完全に起動してください。起動しましたら、付属の CD-ROM をドライブに挿入してください。本体の USB コネクタ(B タイプ)と御使用のコンピュータの USB コネクタ(A タイプ)を付属の USB ケーブルで接続してください。

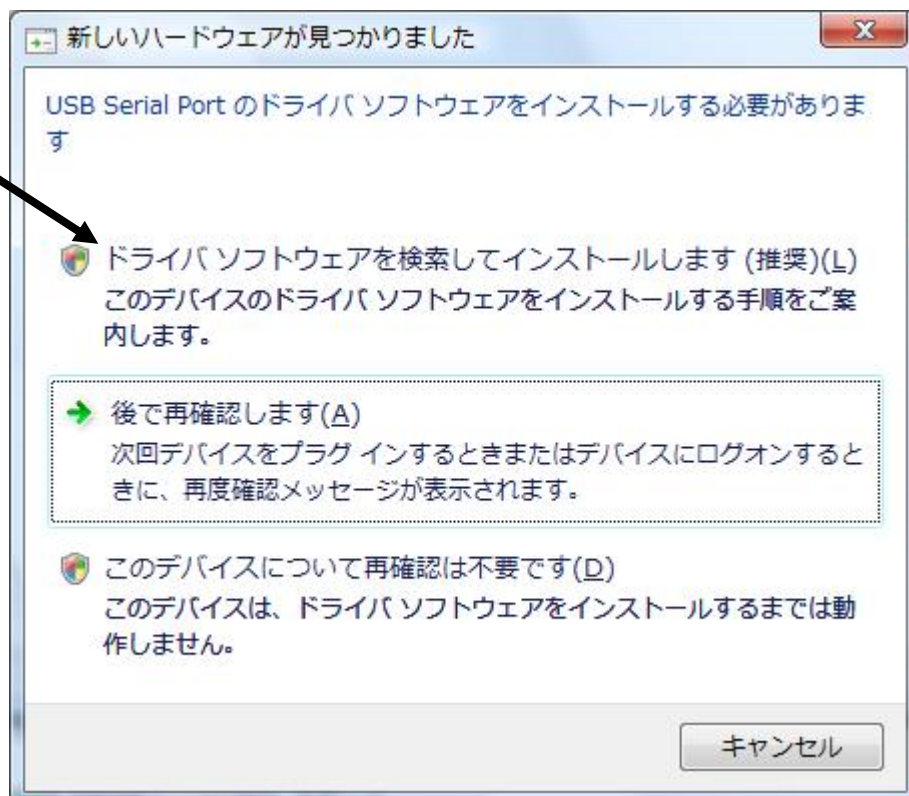
もし、CD-ROM を再生できる機能が無い場合などは、CD-ROM の全内容を USB メモリや LAN 回線の媒体を介して、インストールする PC のハードディスクの任意の名前を付けたフォルダへコピーしてください。その後のドライバの場所をその任意の名前を付けたフォルダを指定して下さい。（フォルダ指定の方法などは本マニュアルには、記載しませんが、O/S のマニュアル等でお確かめ戴きご利用ください）

1 一度目のインストール

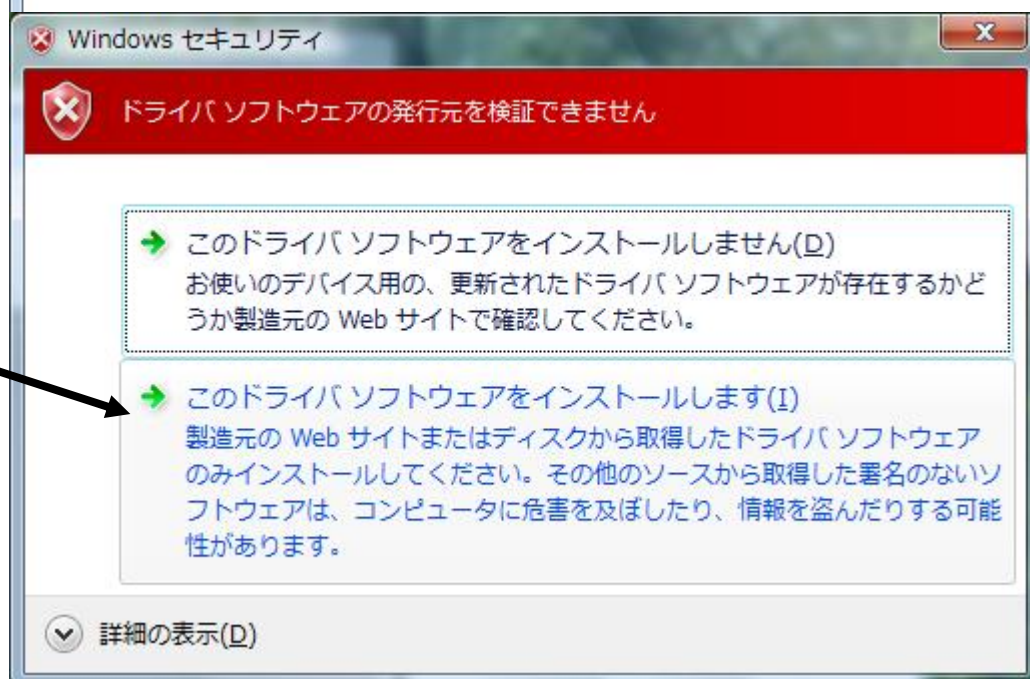
接続すると次の様な画面が表示されますのでクリックしてください。



（クリックしなくても次の画面へ進みます）



上段の「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)・・・」を選んでください。



「このドライバをインストールします」を選んでください。

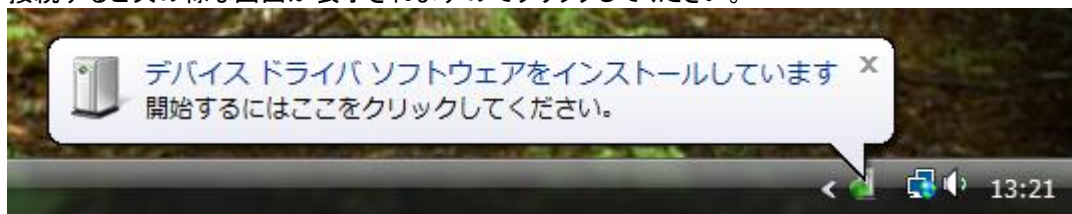


これで1回目のインストールが終わりました。

つづけて次のインストールが始まります。（多少画像などに異なる場合があることをご了承ください）

2 度目のインストール

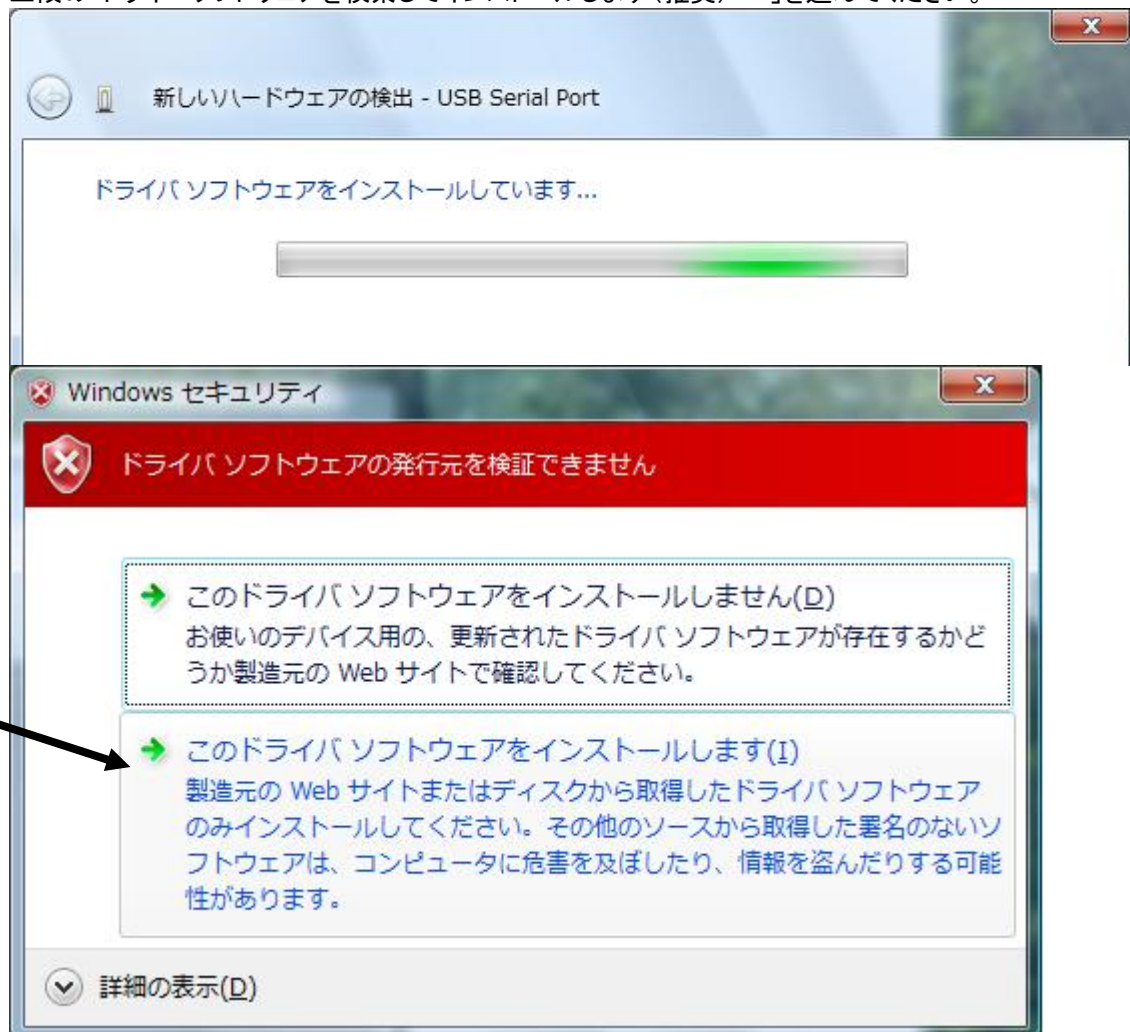
接続すると次の様な画面が表示されますのでクリックしてください。



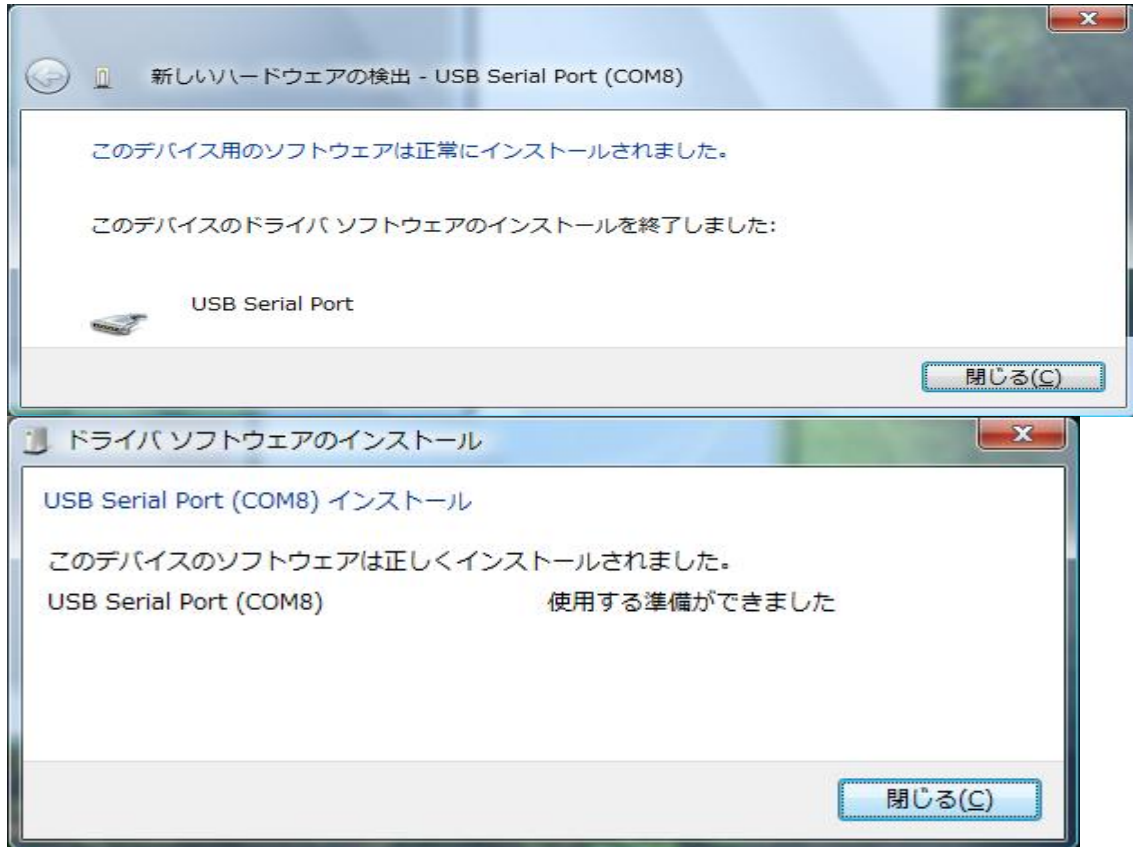
（クリックしなくても次の画面へ進みます）



上段の「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)・・・」を選んでください。

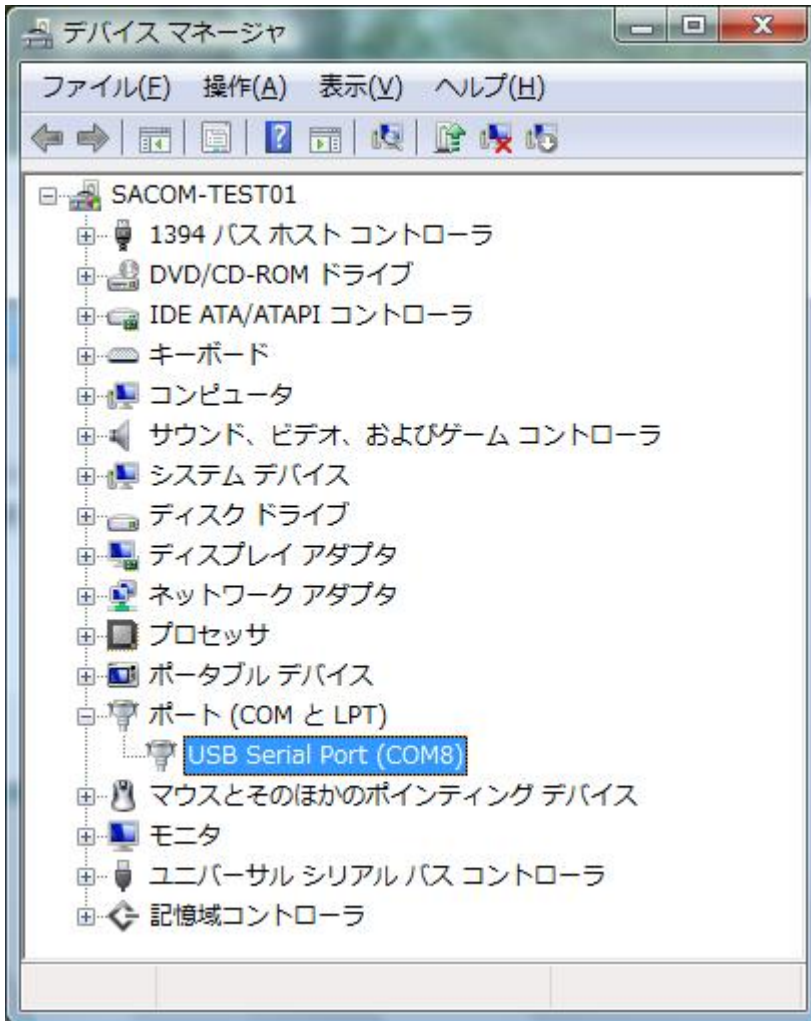


「このドライバをインストールします」を選んでください。

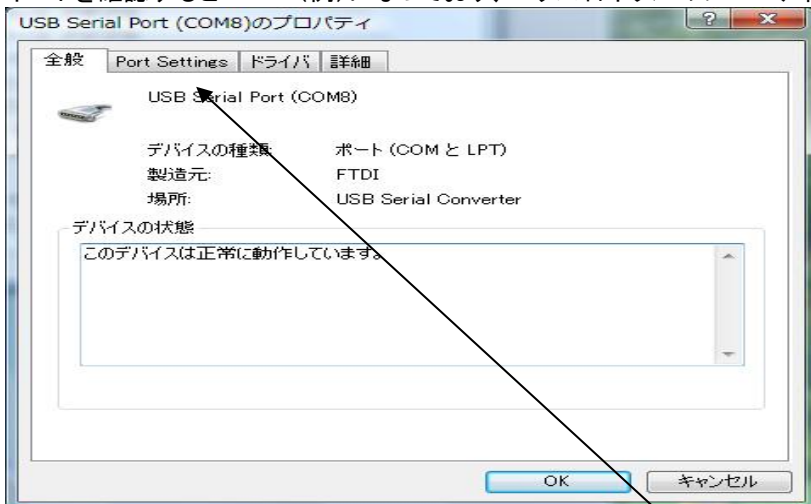


仮想 COM ポート番号 (例では COM8) が表示されて完了です。

さらに確認のためにデバイスマネージャを見てみましょう。(デスクトップ上のコンピュータアイコン上でマウス右ボタンのプロパティから表示できます)

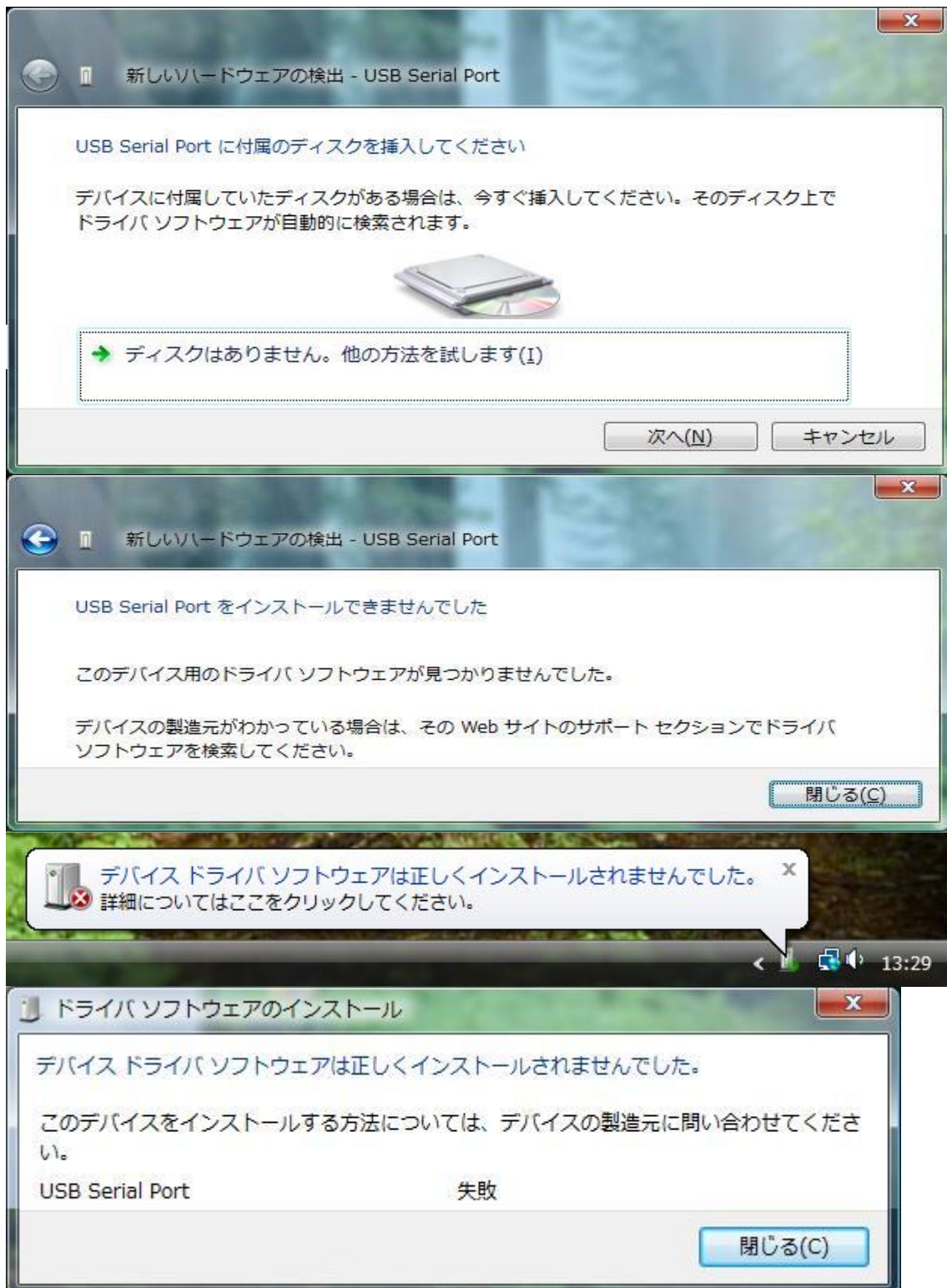


ポートを確認すると COM8(例)になっており、マウス右ボタンのプロパティで確認すると、



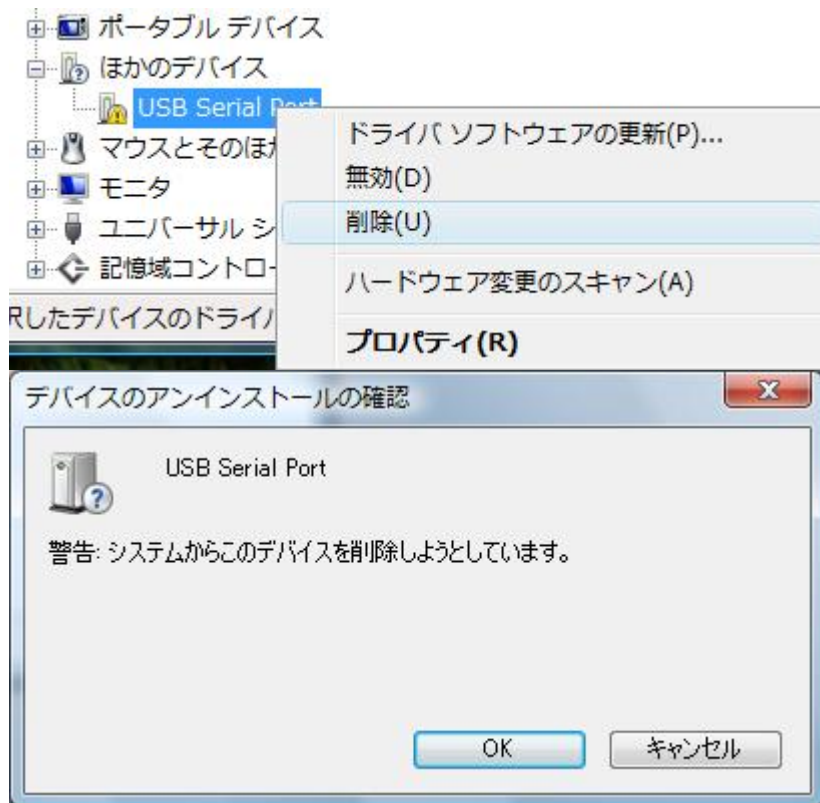
正常に動作していることが確認できます。必要に応じて Port Settings からボーレイトなどを変更して下さい。
これでドライバのインストールは完了です。

では、ここから Vista での異常時の対処例を示します。



ディスクを入れたのに認識されない場合です。原因は色々あるかと思いますが、一番多いのは異なった CD の誤挿入です。しかし合致しているのにダメな場合は CD ドライブの読み取りエラーの可能性がありますので次のように対処してみてください。

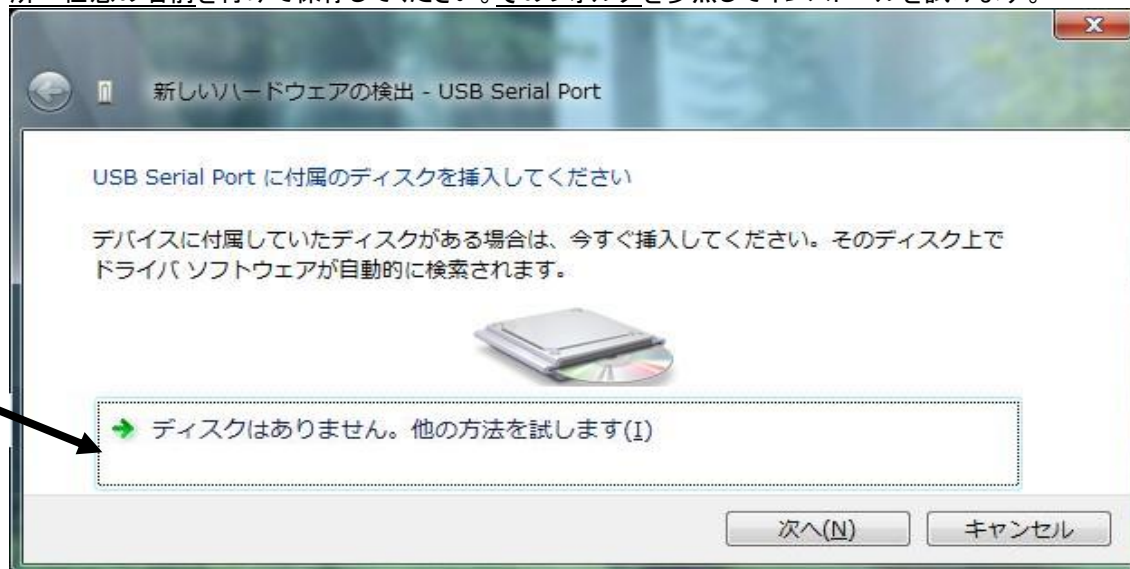
まず、デバイスマネージャーで以下の様に「ほかのデバイス」等で黄色のマークで USB SerialPort があれば、下図のようにマウス右ボタンで中途半端に入った状態を削除しておいて下さい。



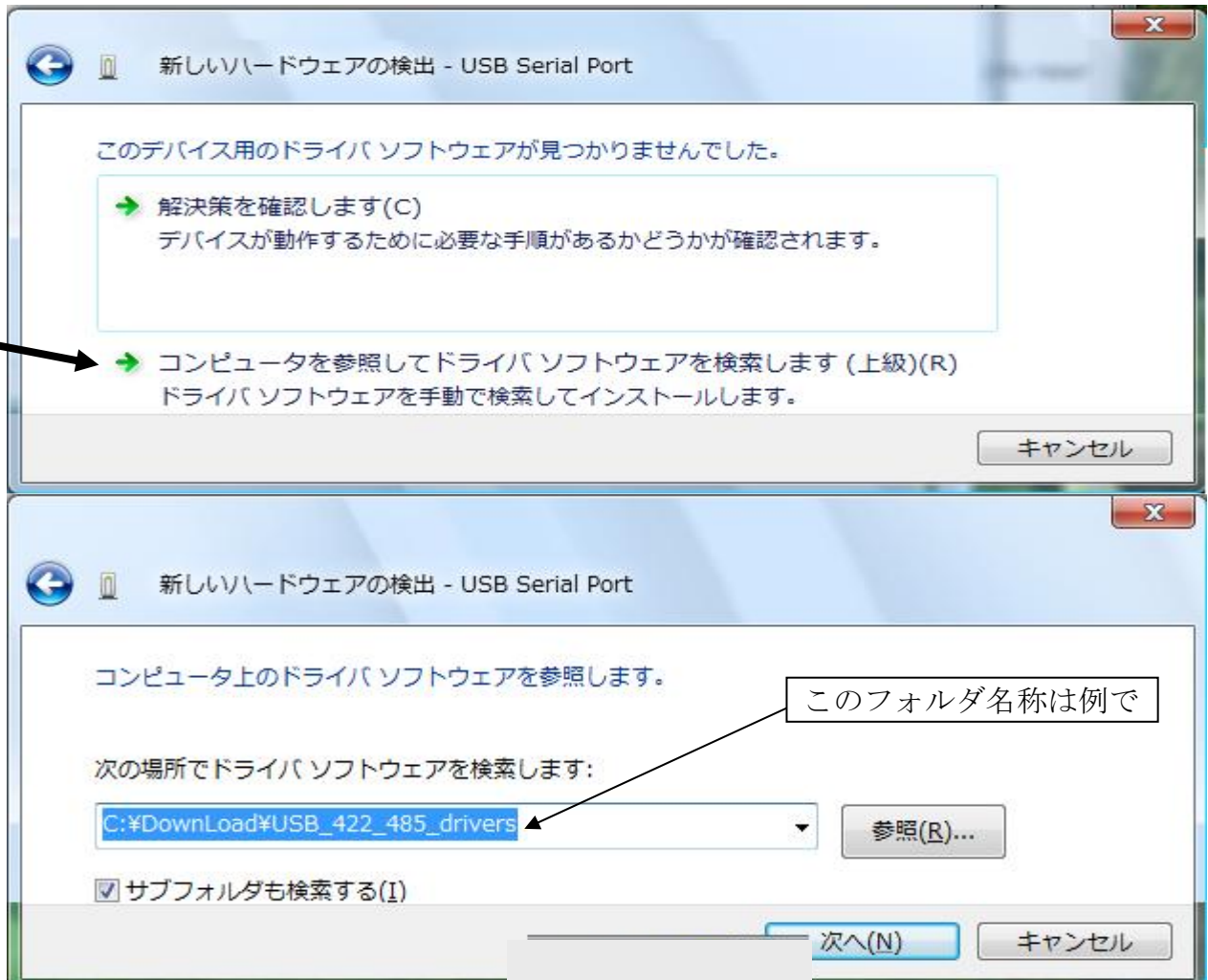
OK で削除して下さい。

■ここから別の方法でインストールを試みる方法を示します。

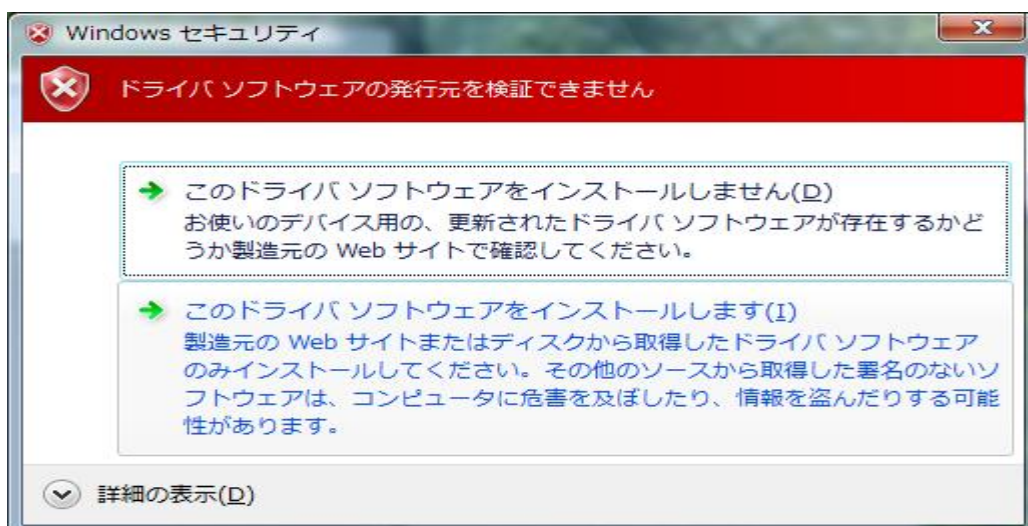
他の PC で(Vista 以外でも OK)CD 内容全部を USB メモリー等へコピーして、それを現在の VistaPC の任意の場所へ任意の名前を付けて保存してください。そのフォルダを参照してインストールを試みます。



USB ケーブルを抜き差しして、もう一度、この画面を出して、他の方法を試しますを選んで下さい。



先に名前を付けたフォルダを参照して次へを押します。



成功すると、この画面がでますので後は、先述した成功したパターンを参照して下さい。
それでも異常が出る場合は弊社までご一報ください。

COM ポートの設定

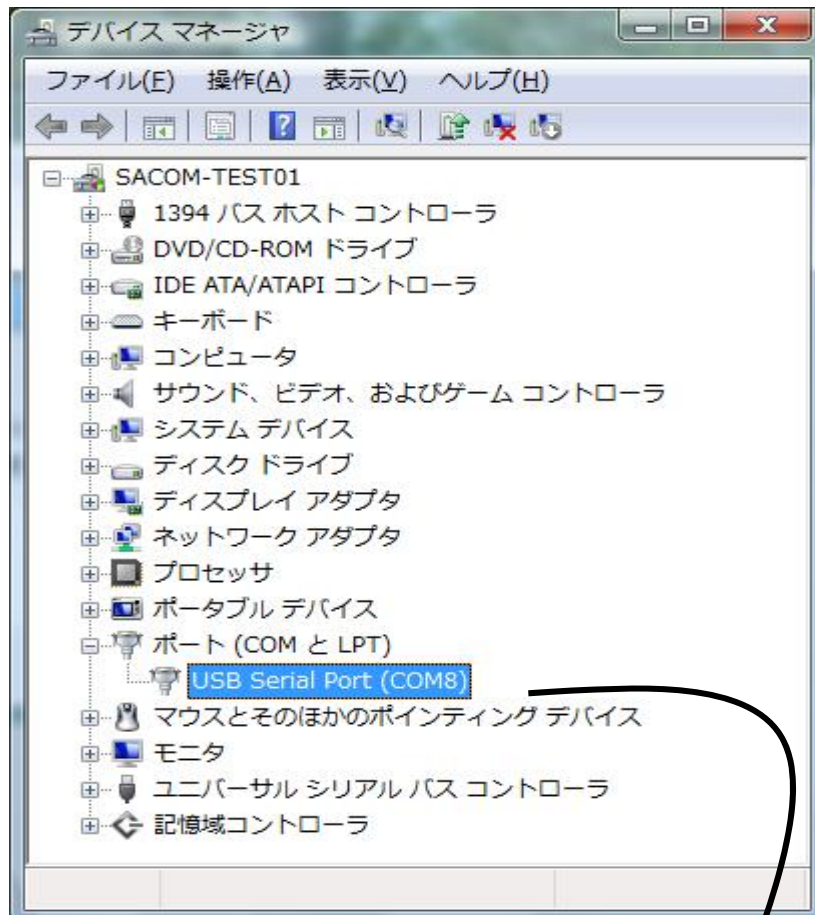
本変換器のドライバは仮想 COM ポートドライバとなっております。従来の COM ポート(RS-232C シリアルポート)と同様の使用方法を用います。COM ポートを識別するためには COM 番号を使用します。

例 COM1

本変換器は初回接続時に空きポートに自動的に割り振りますが、後からシステムの都合に合わせて変更することができます。ここではこの COM ポート番号の変更方法についてご説明します。本変換器には装置固有の番号があり、一度接続を外してもこの設定値は固有の番号の記録と照合されて次回接続時にも同一の COM 番号が維持されます。複数台ご使用の場合は COM 番号が重ならない様に設定してください。

COM 番号の設定変更手順

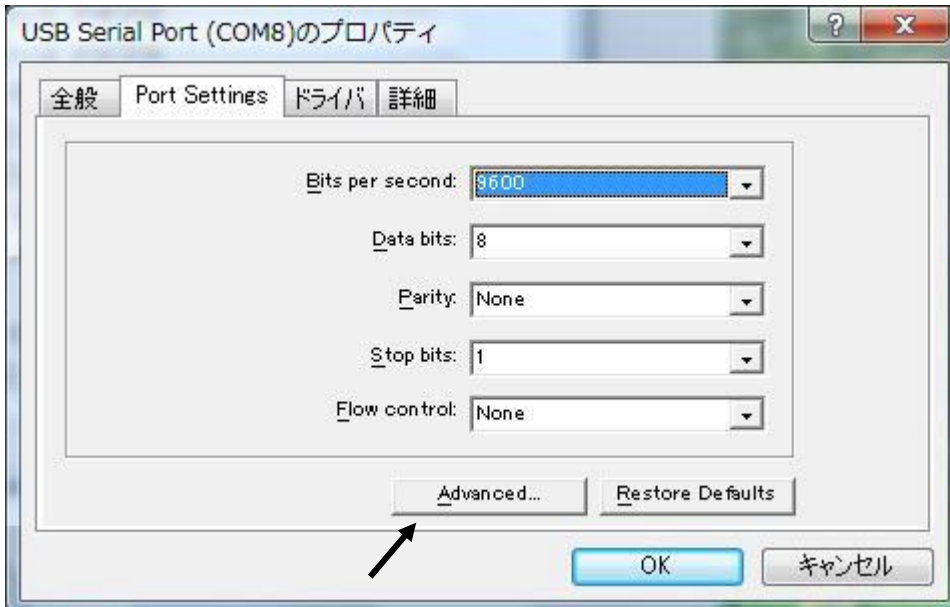
Vista においても外面上は若干異なるようですが、内容は全く XP 等と同じです。



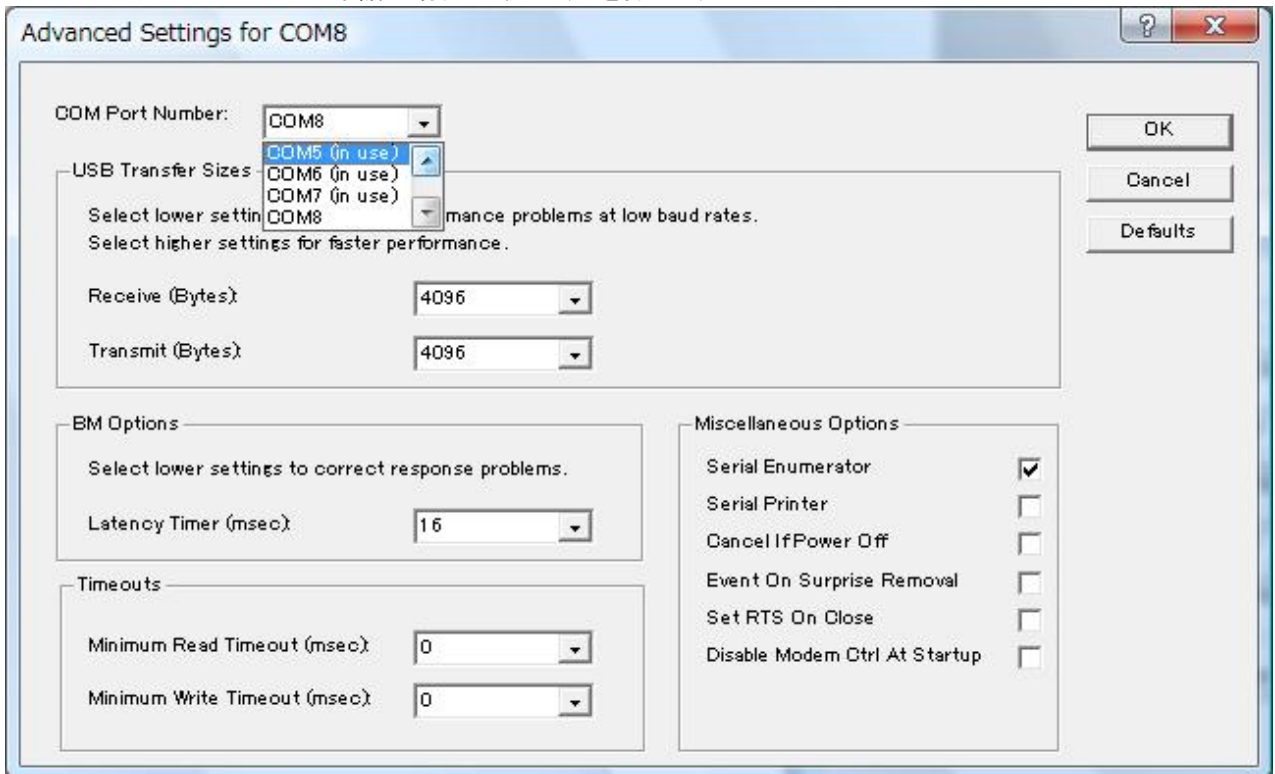
マウス右ボタンでプロパティを表示



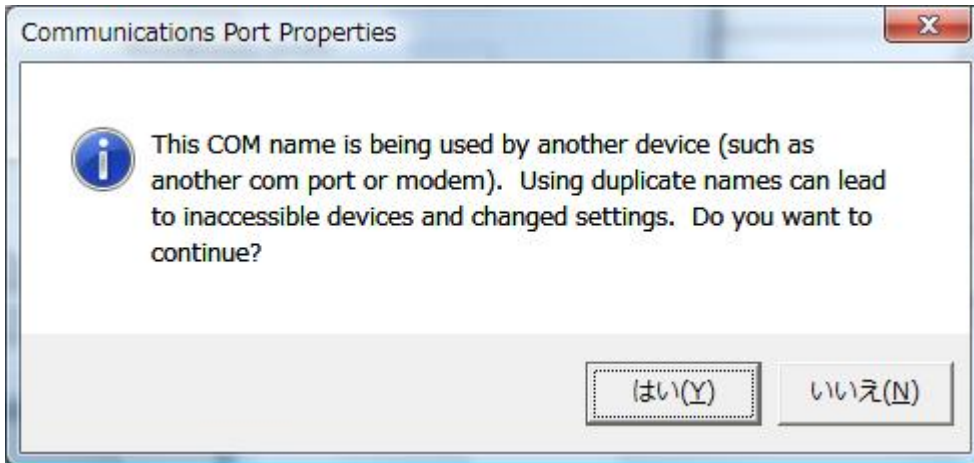
PortSettings(PC によっては日本語の場合があります)タブを押して、



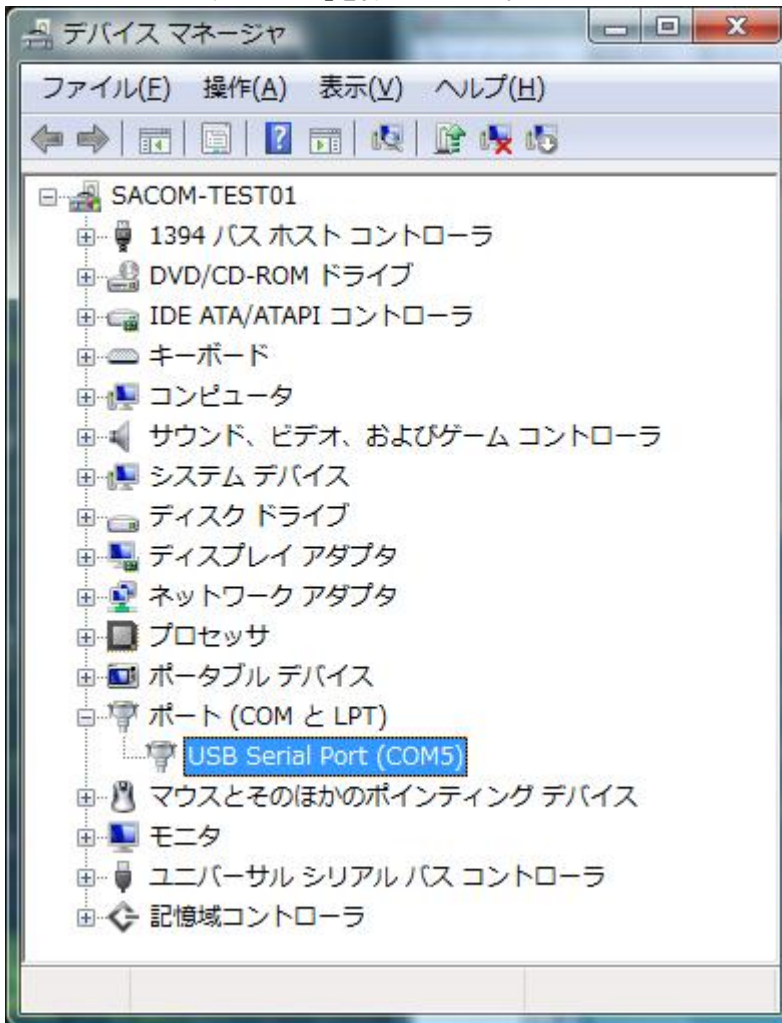
Advanced... (PC によっては日本語の場合があります)を押して、



例として COM5 の(in use)のポートを強制的に割当ててみます。(物理的に PC に接続されていなくても PC が過去の接続状態を記憶しているポートがありますので、その実在しないポートへ割当てて下さい。)



ワーニングが出ますが「はい」を押して下さい。



ひとまずデバイスマネージャと、全ての子ウィンドを閉じて、再度デバイスマネージャを開くと、上図のように COM5 が割当てられているのが確認できます。これで COM 番号変更は成功です。

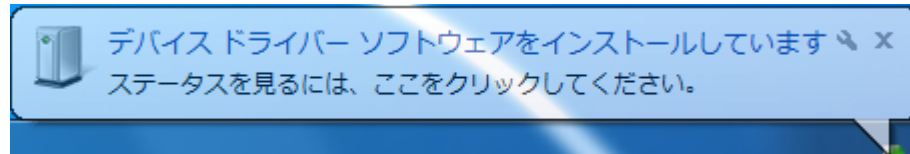
Windows 7 64bit (Pro および Home 共通)

インストール概要

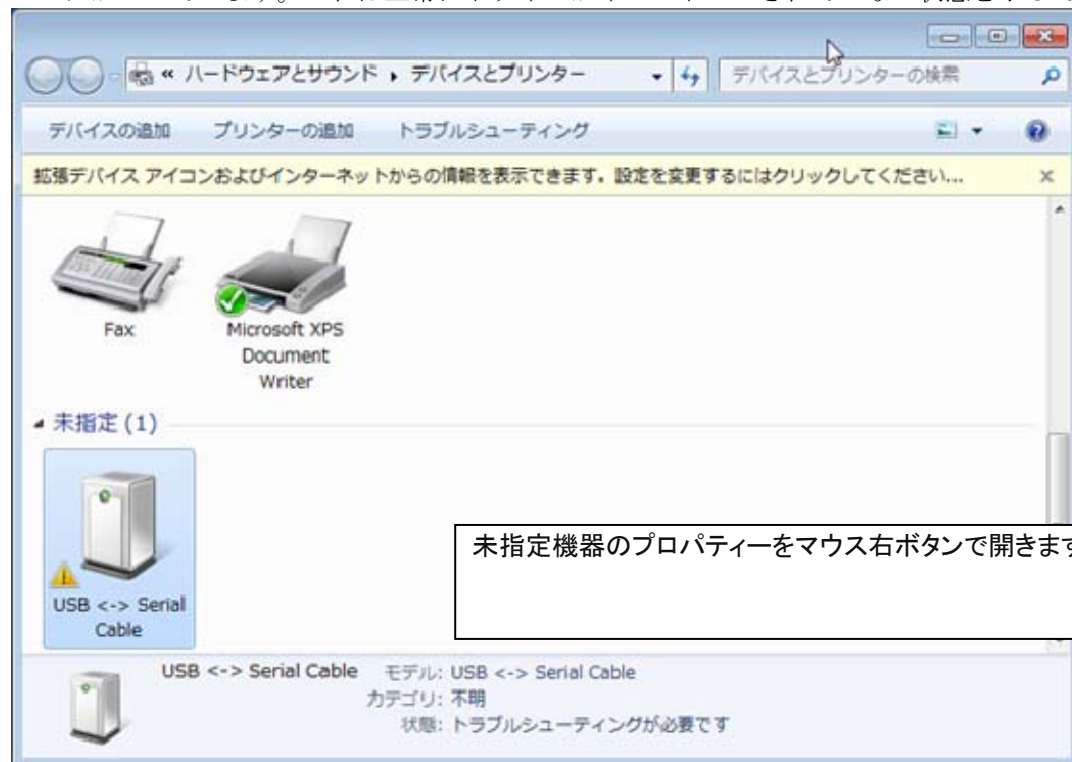
本シリーズをWindows システムで使用するためには初めにドライバのインストール作業をしなければなりません。このインストール作業はお使いのシステムで御使用開始時に一回だけ行います。

初回に接続したにも関わらず、Windows 7 では他 OS のように新たなドライバを要求する画面が表示されることなく、一見ドライバが正常にインストールされたかのように見ることがあります。しかし何も要求してこない状態となり内部的にエラー状態になっていることがあります、結局ドライバーがインストールされない状態になっています。ですので以下に示す様に手でドライバのインストールを行う必要があります。(将来的に改善される可能性があります) この場合も他 OS 同様に2回のドライバインストールを行うことになります。状態により1回に見えることがあります。以下の説明は2回のインストールを行う手順を示します。

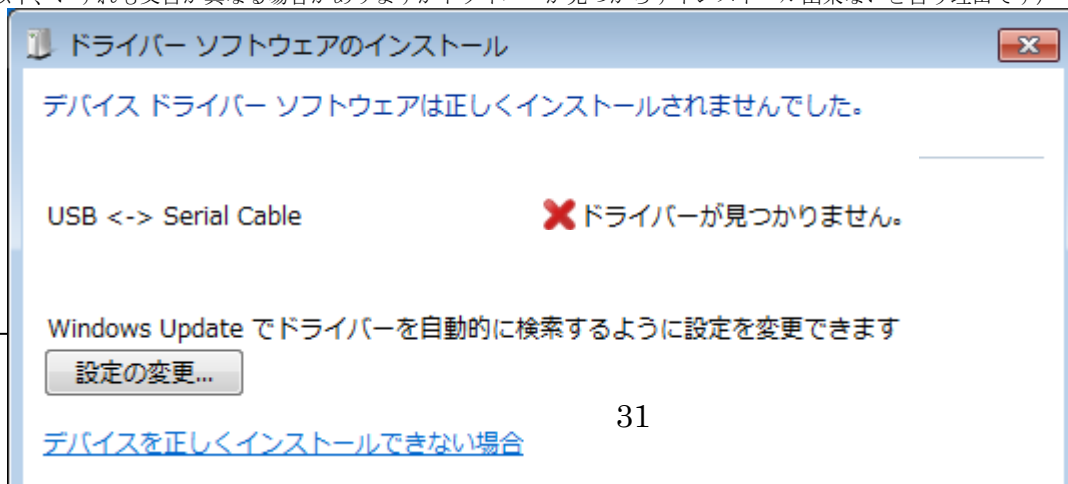
接続すると下記のようなインストール中の画面が暫時表示され、何も無かったかの様に自動的に消えます。



しかしコントロールパネルのデバイスとプリンターを見ると、以下のように未指定: USB<->Serial の項に！マークがついています。これは正常にドライバがインストールされていない状態を示しています。



また、以下のメッセージが表示される場合もありますが、左上×で閉じ、次の手順へ進んで下さい。
(以下、いずれも文言が異なる場合がありますがドライバが見つからずインストール出来ないと言う理由です)



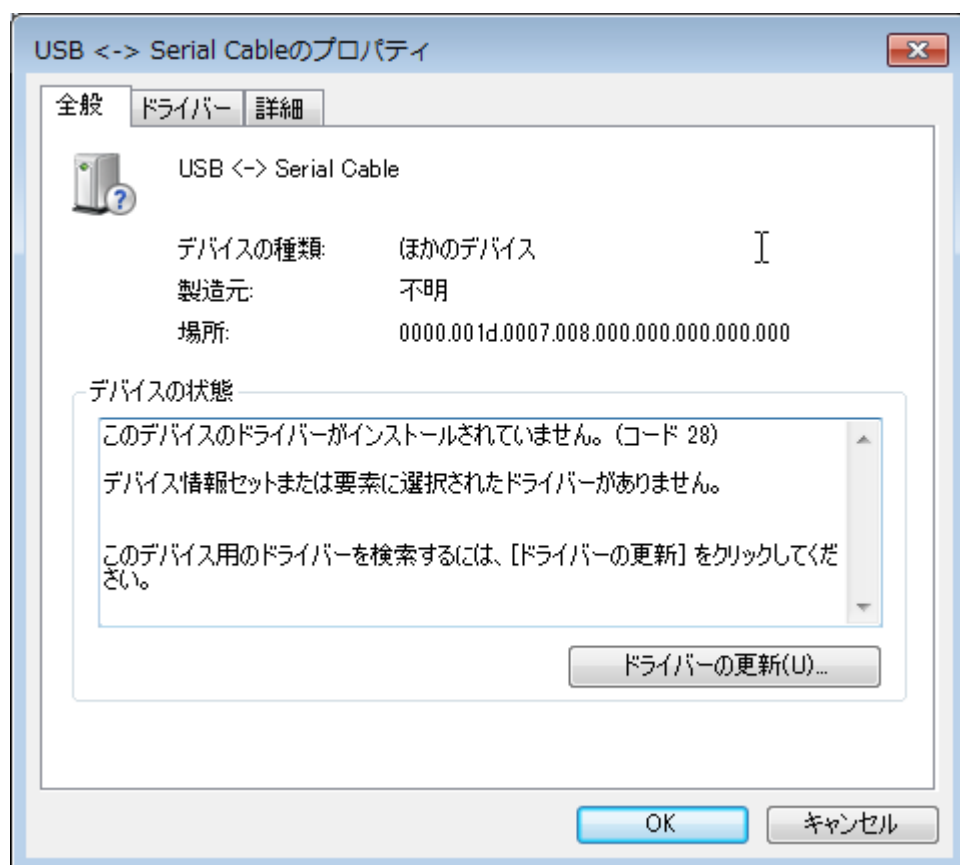
先の未指定機器のプロパティをマウス右ボタンで開いた状態が下記です。



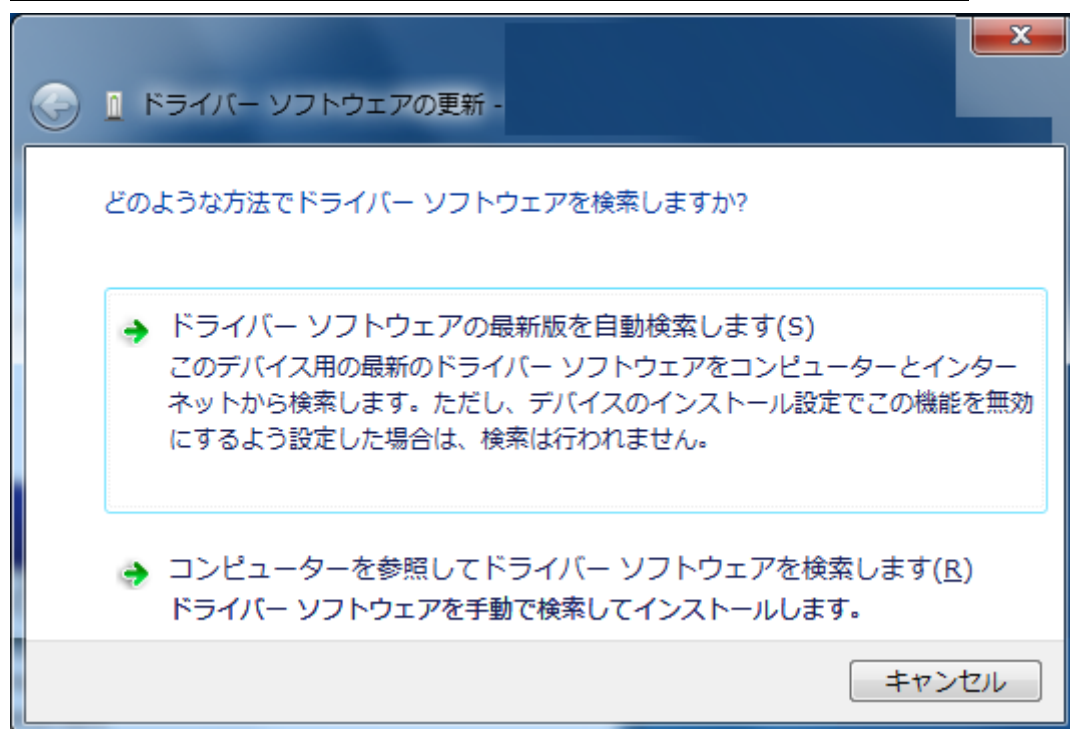
プロパティを開きます。



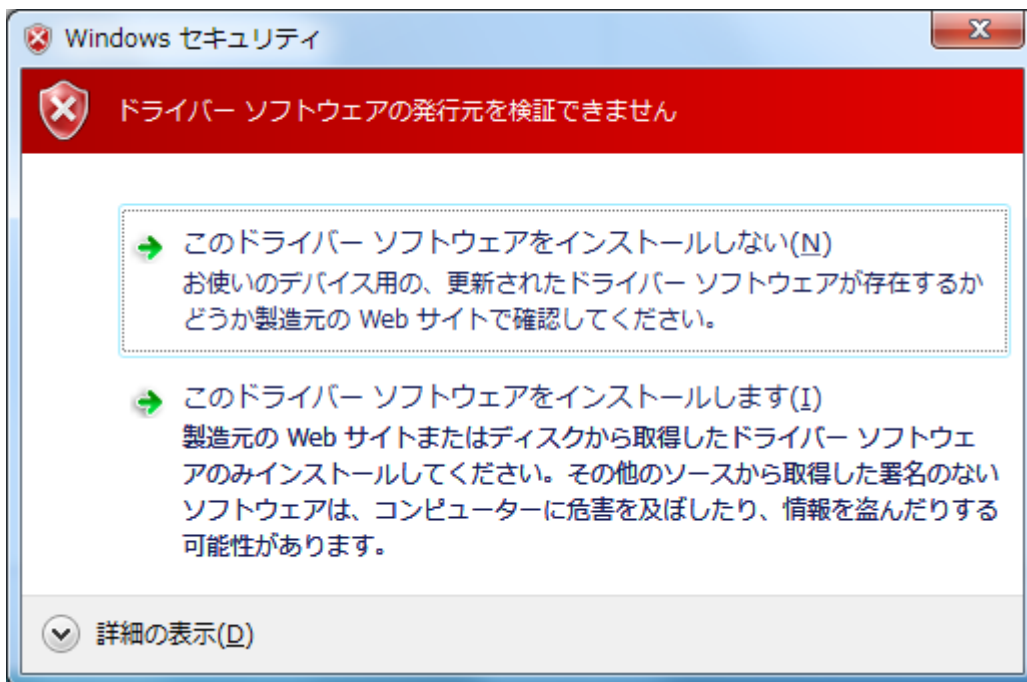
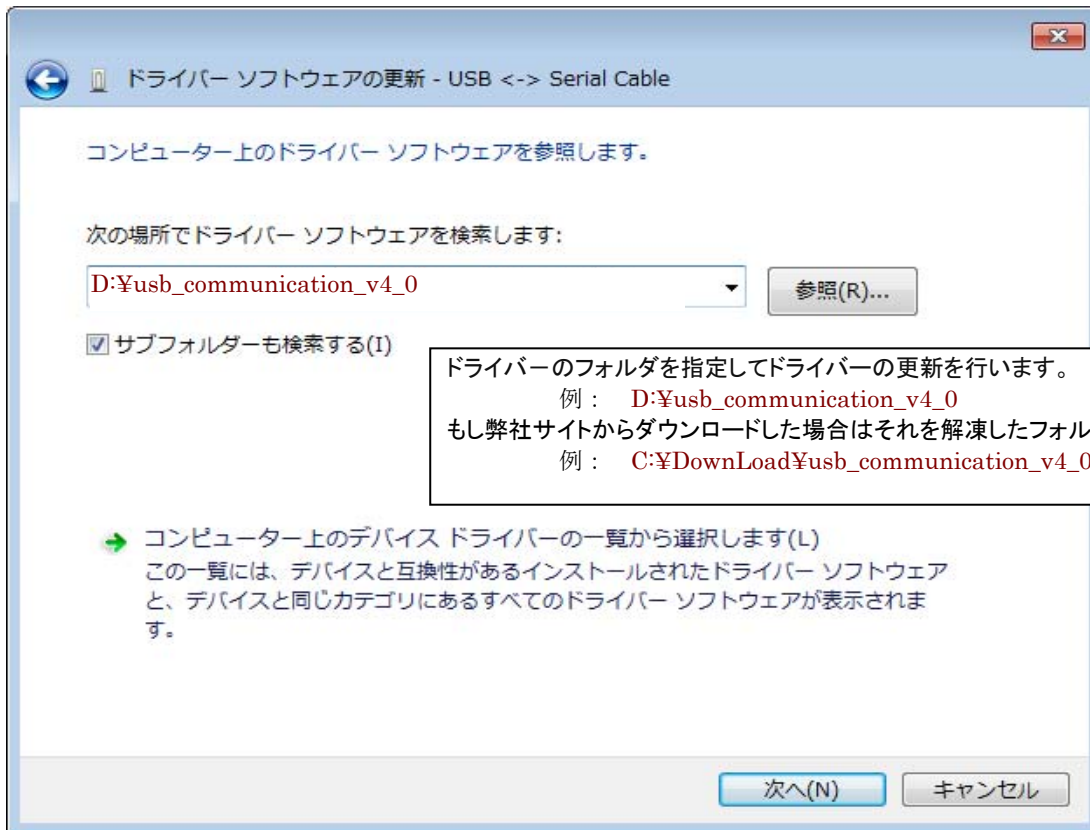
「設定の変更」ボタンを押してください。



デバイスの更新を開きます。

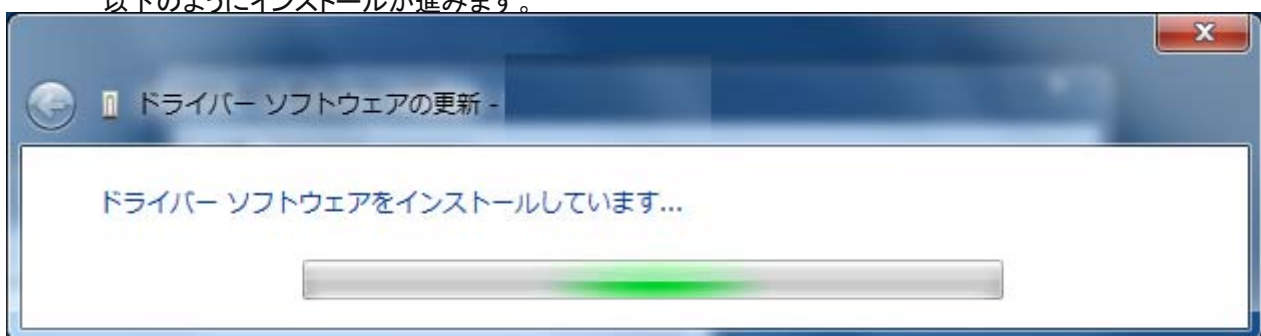


下側の、コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します、を選択します。



下側の、このドライバーソフトウェアをインストールしますを選びます。

以下のようにインストールが進みます。

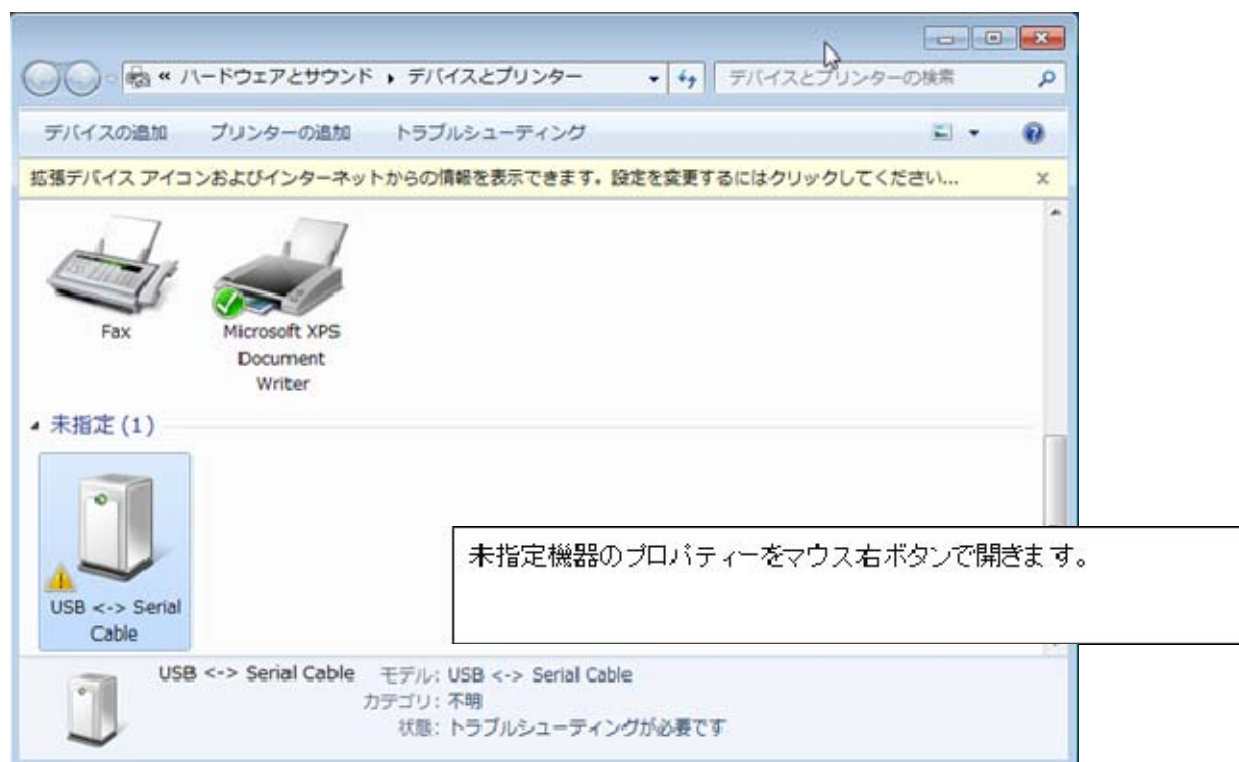


以下のように正常に更新されたメッセージが表示されます。



ハードウェアとサウンド／デバイスとプリンターの項から、デバイスドライバーが未指定の機器を調べます。

また下記のように、未指定：USB---Serial の項に！マークがついている場合は、まだ正常にドライバがインストールされていない状態を示していますので、再度、同様の操作をします。（2度目のインストール）

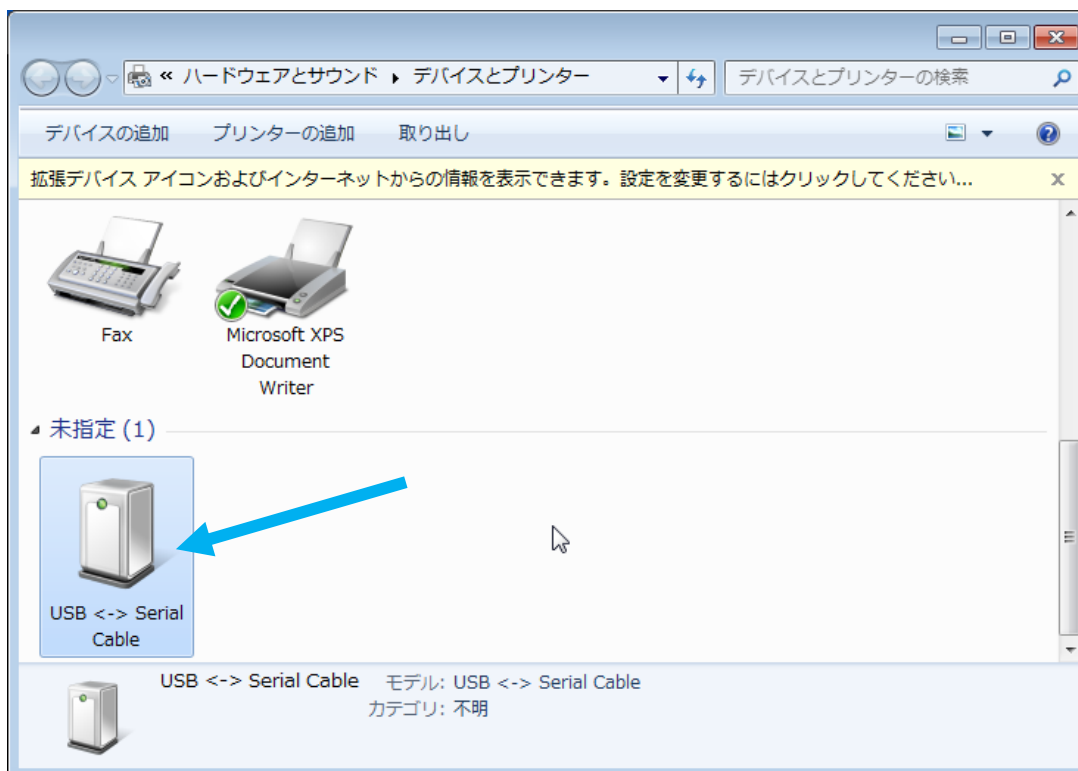


2度目のインストールを行ってください。

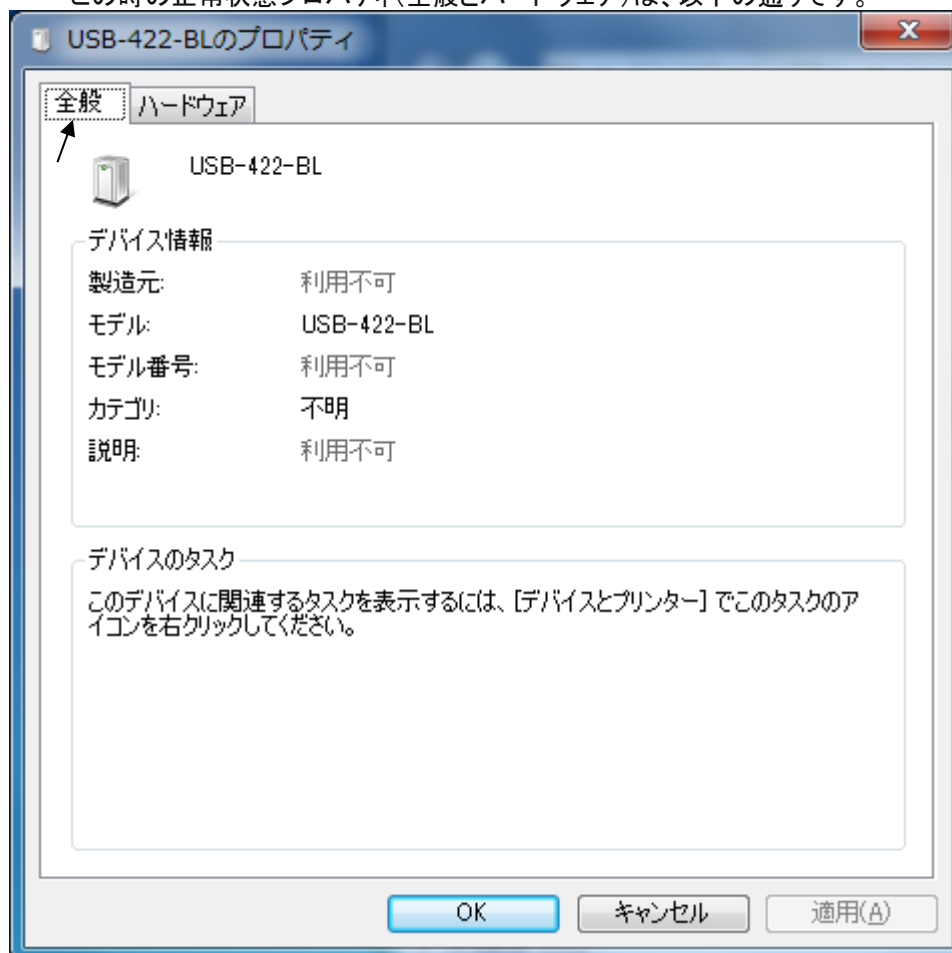
方法は先に述べた p31 の同図からの方法と全く同様ですのでここでは割愛します。

（他 Windows バージョンでも 2 回のドライバインストールを行っています。本 OS でも同様の処理となっています）

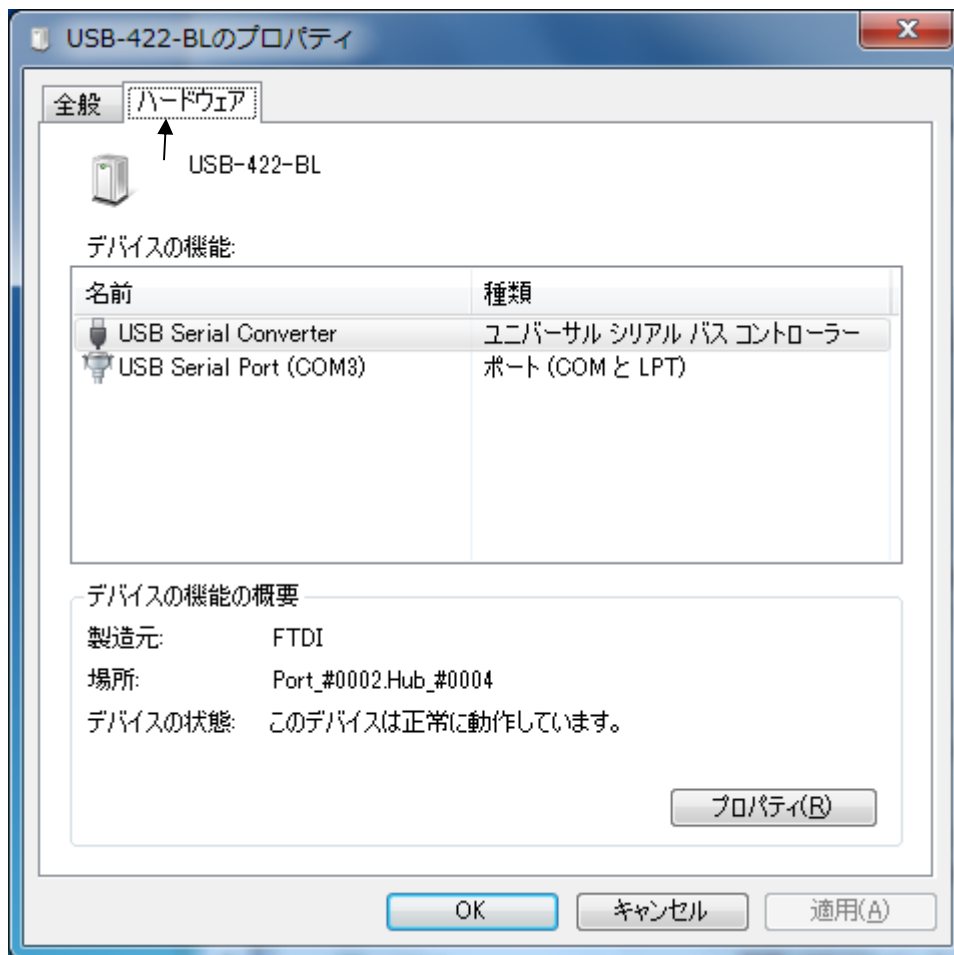
以下のように！マークが無くなればドライバーインストールが正常に終了しています。



この時の正常状態プロパティ(全般とハードウェア)は、以下の通りです。



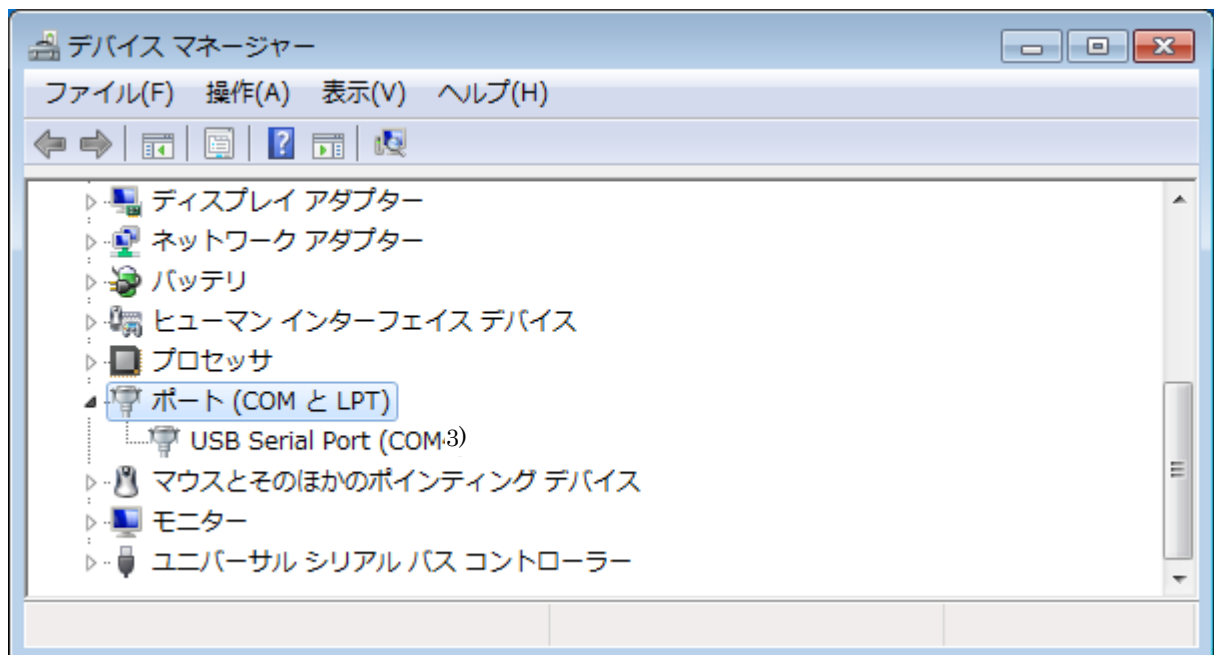
ハードウェアタブを選択します。
(機器名は、機器により異なります)



機器名や COM ポート番号や場所は機器や PC の状態により異なりますが、

デバイスの状態に、このデバイスは正常に動作しています。とメッセージが表示されます。

最終的にデバイスマネージャで下図のように COM ポートが確認できれば完了です。



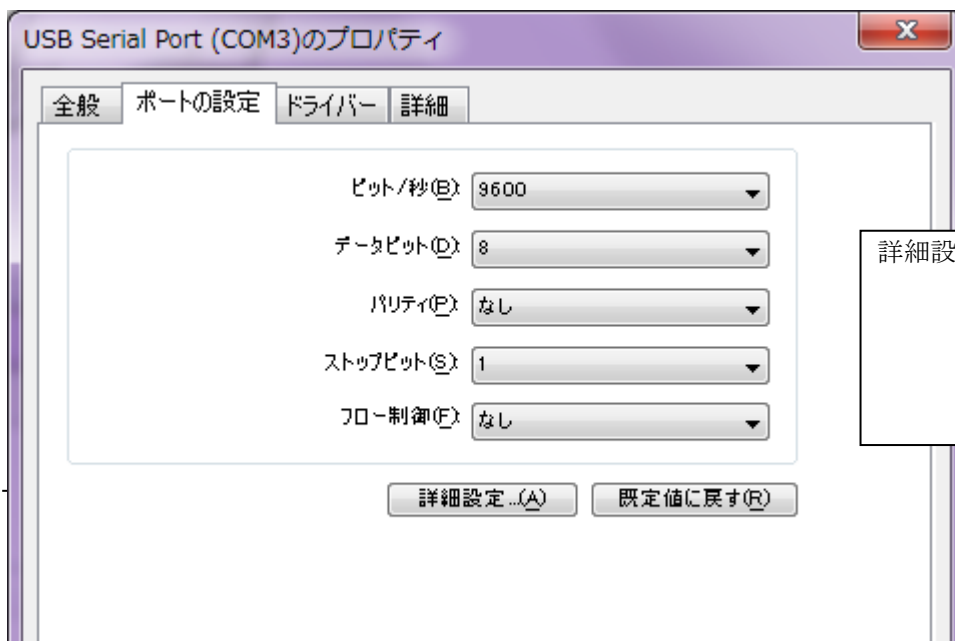
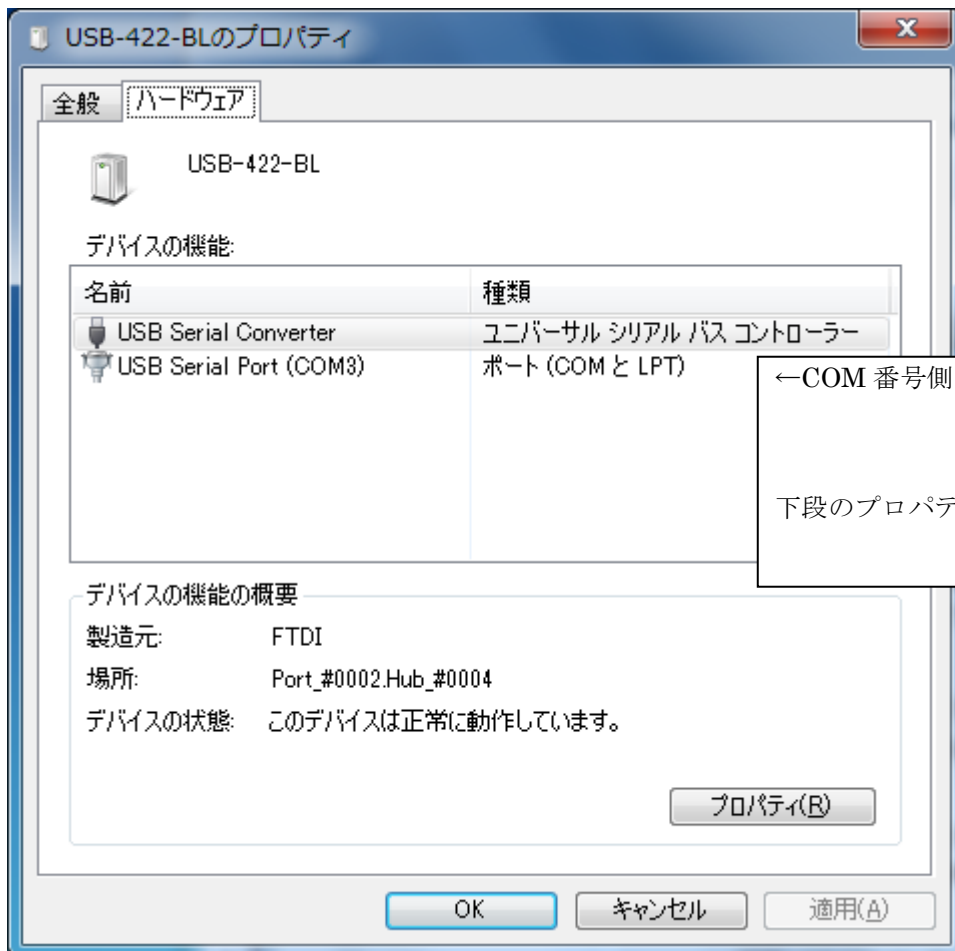
COM ポートの設定

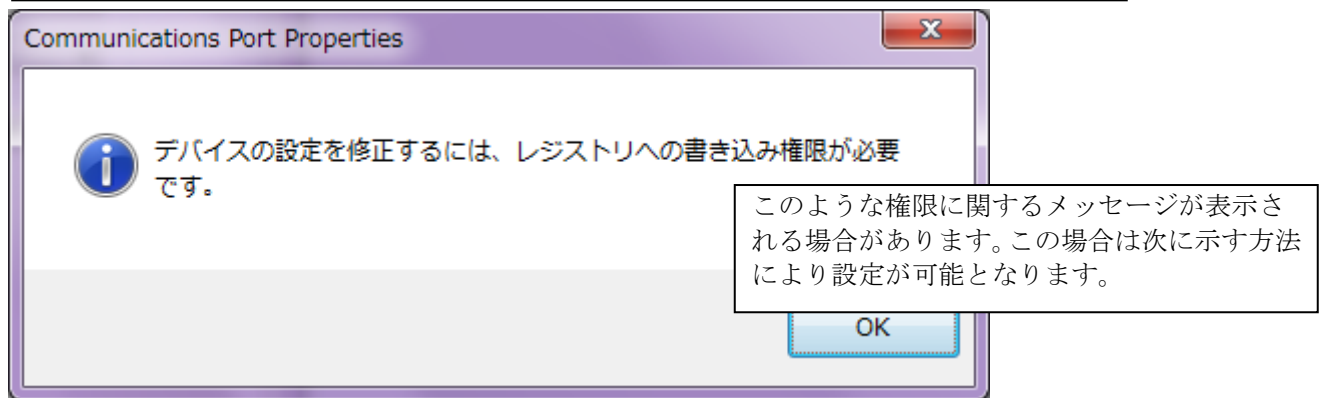
本変換器のドライバは仮想 COM ポートドライバとなっております。従来の COM ポート(RS-232C シリアルポート)と同様の使用方法を用います。COM ポートを識別するためには COM 番号を使用します。

例 COM1

本変換器は初回接続時に空きポートに自動的に割り振りますが、後からシステムの都合に合わせて変更することができます。ここではこの COM ポート番号の変更方法についてご説明します。本変換器には装置固有の番号があり、一度接続を外してもこの設定値は固有の番号の記録と照合されて次回接続時にも同一の COM 番号が維持されます。複数台ご使用の場合は COM 番号が重ならない様に設定してください。

前述の下記プロパティを表示させます。（ハードウェアとサウンド／デバイスとプリンターより）



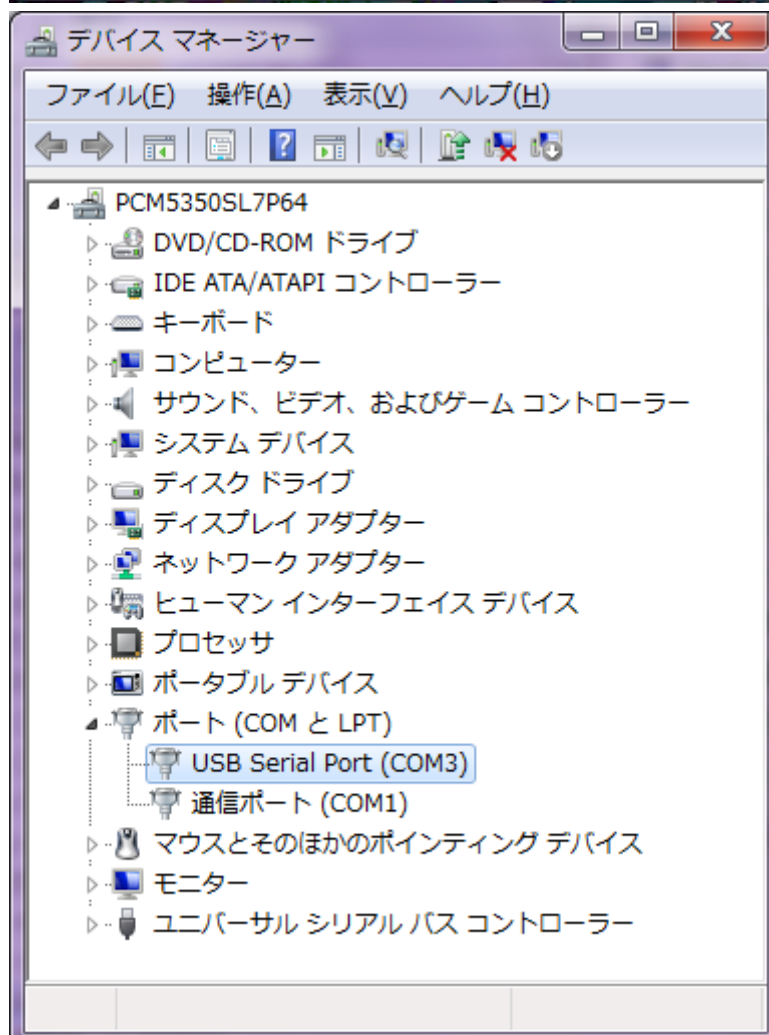
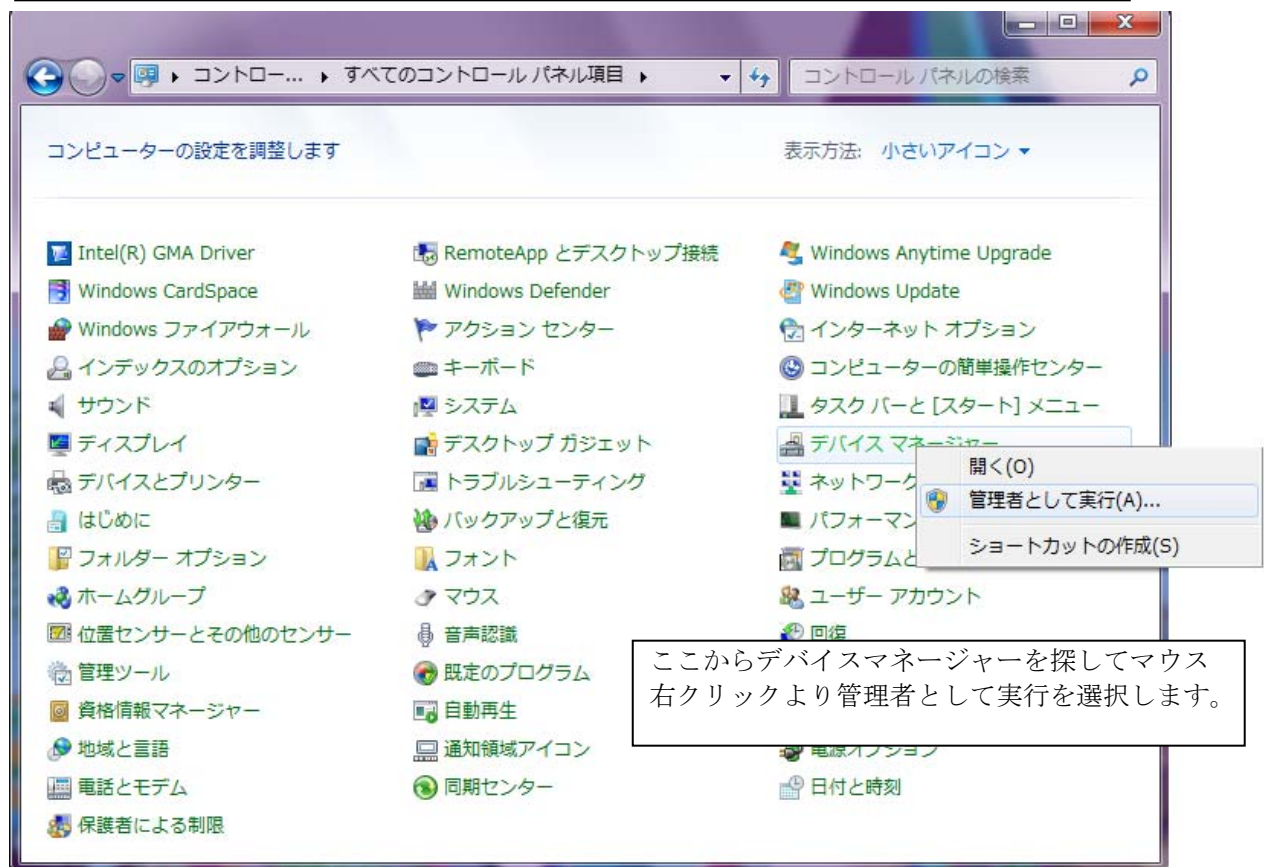


レジストリへの書き込み権限を許可する方法について
 この時は恐らくコントロールパネルを開くと下図のようになっていることでしょう。
 この状態では **administrator** で Login していてもレジストリ変更は出来ません。

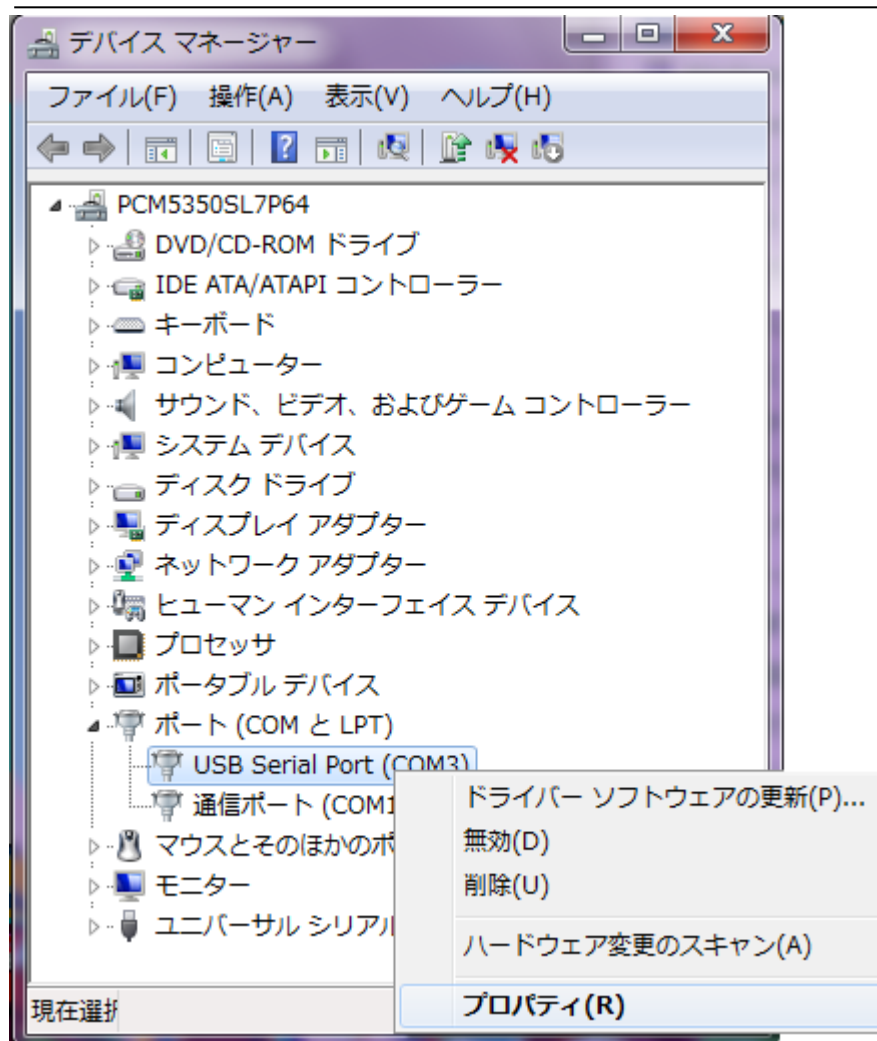


ですので左上のカテゴリから表示方法を大小どちらでもアイコンへ変更します。

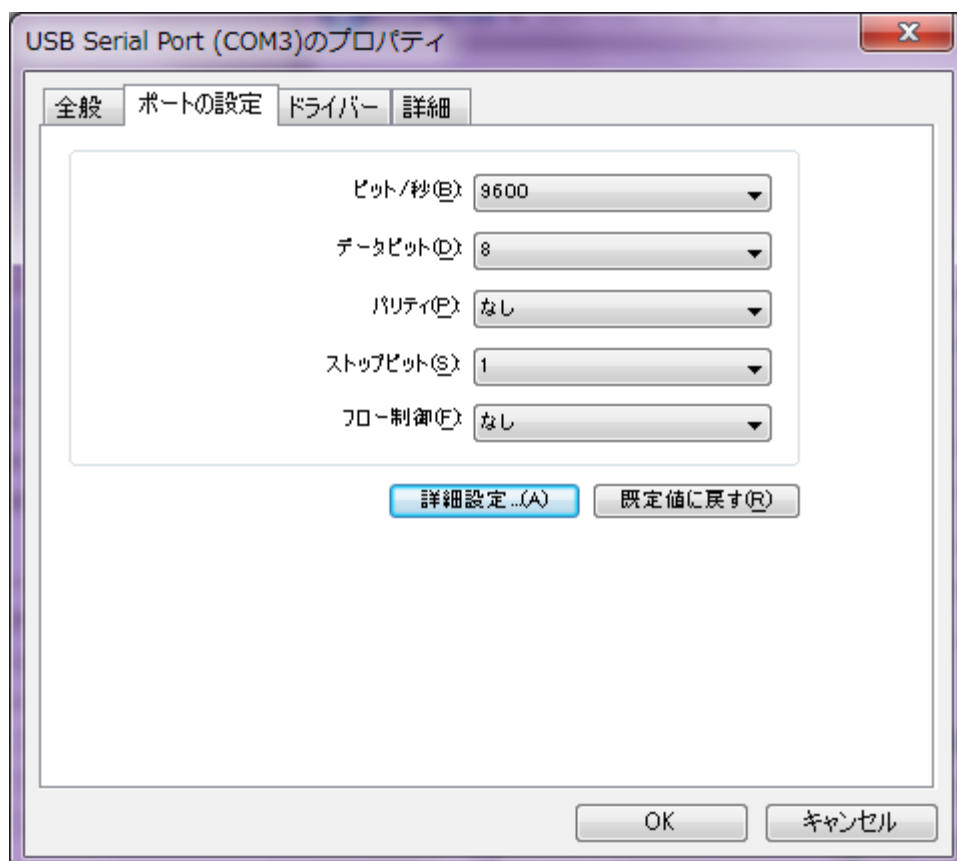




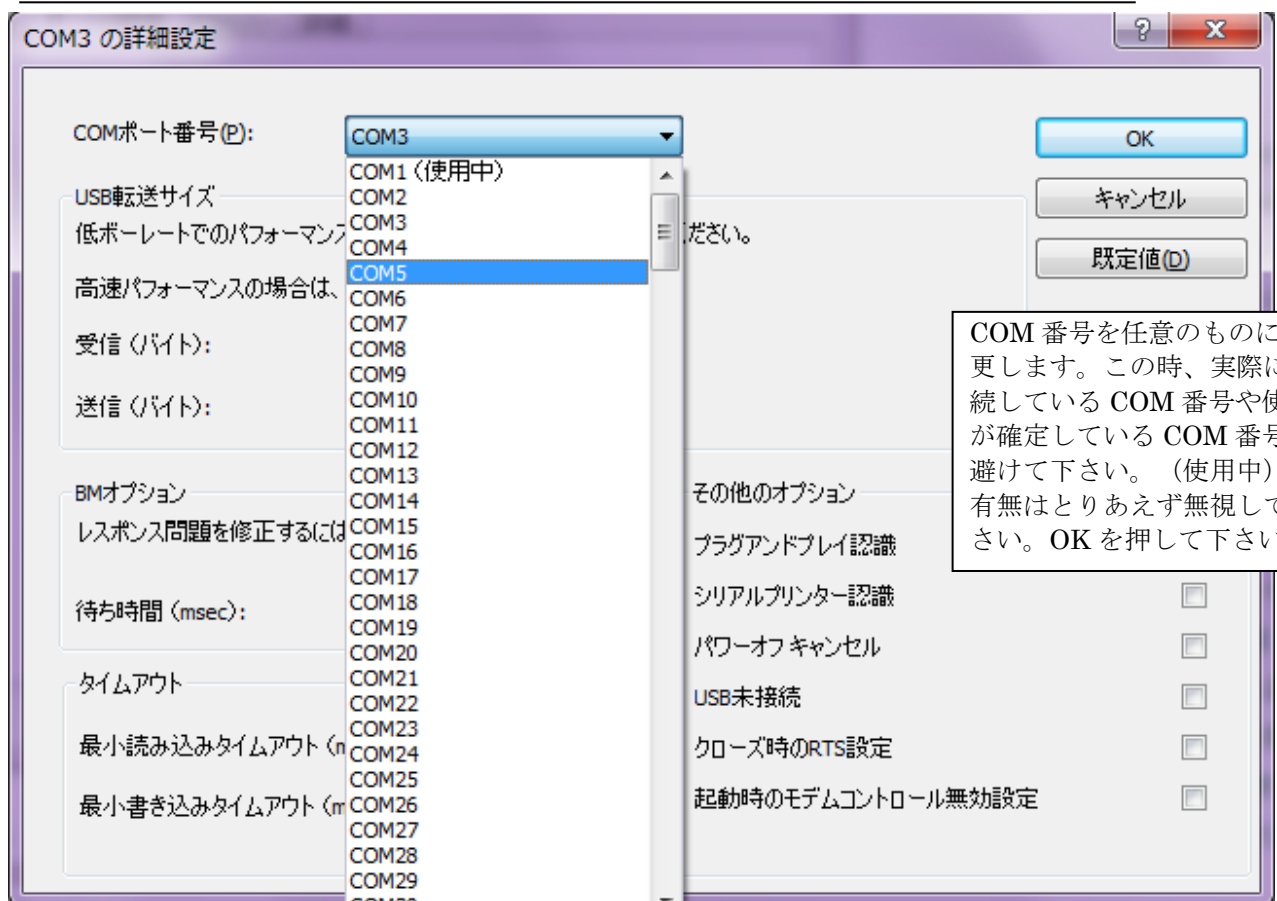
すると従来 OS から見慣れたデバ
イスマネージャ画面が表示されま
す。ここからは従来同様に該当
COM 番号のプロパティを参照し
てポート番号を変更できます。



マウス右クリックよりプロパティを選択します。

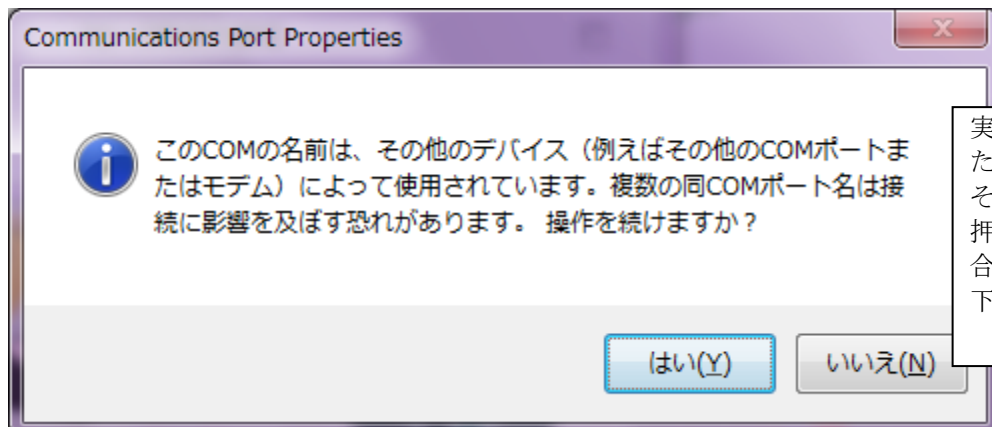


詳細設定を押します

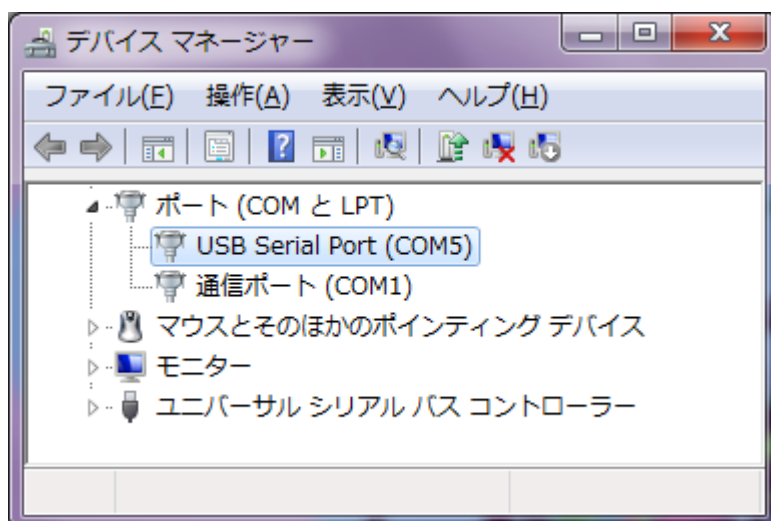


COM 番号を任意のものに変更します。この時、実際に接続している COM 番号や使用が確定している COM 番号は避けて下さい。(使用中)の有無はとりあえず無視して下さい。OK を押して下さい。

もし (使用中) の COM 番号を指定した場合は以下の表示が出ます。



実使用していない番号であったならば、はい を
そうでなければ、いいえ を
押してください。いいえの場合
は再度番号を選択し直して
下さい。



最後にもう一度、デバイスマネージャーを見て、希望の COM 番号に変更されていたならば成功です。

■ 正常動作確認方法

貴殿ご使用のアプリケーションソフトウェアで動作が確認できない場合、下記の確認方法が有効です。

従来 RS232C ポートで活躍していたシリアル通信ターミナルソフトウェアを使用すると簡単に動作が確認できます。ターミナルソフトウェアには、XP まで標準搭載されていたハイパーターミナルや、フリーソフトで有名な TeraTerm やつなたーむ、serister、PortMon、MopTerm、など多数が NetWork 上に存在します。いずれもサポート外ですので O/S 等走行条件を確認し、自己責任にてご使用ください。

動作確認方法は、いずれの USB シリアル変換機でも、LED ランプの点灯／点滅および自己折返しデータチェックです。正常状態で LED は点灯しています。シリアル側の外部接続は行いません。COM ポート番号はデバイスマネージャーより確認して設定してください。ボーレートなど通信条件は自己折返しの場合 9600bps ノンパリティ 1StopBit Data8bit で大丈夫です。

◇USB-RS232C

RS232C 側の Dsub9 ピンの場合、2-3pin をピンセット等で短絡して下さい。

この状態でターミナルソフトからキーボードでなんらかのキーを打ち込んで下さい。打ったタイミングで LED が点滅します。打ったキーが画面上に反映されるはずですが、短絡を止めると文字は反映されません。

◇USB-RS422

RS422 側の TXD+を自機の RXD-へ、TXD-を RXD+へ接続して下さい。

この状態でターミナルソフトからキーボードでなんらかのキーを打ち込んで下さい。打ったタイミングで LED が点滅します。打ったキーが画面上に反映されるはずですが、折返し短絡を止めると文字は反映されません。

◇USB-RS485 (4 線式)

RS485 側の TXD+を自機の RXD-へ、TXD-を RXD+へ接続して下さい。

この状態でターミナルソフトからキーボードでなんらかのキーを打ち込んで下さい。打ったタイミングで LED が点滅します。打ったキーが画面上に反映されるはずですが、折返し接続を止めると文字は反映されません。

◇USB-RS485 (2 線式)

内部 JP3を 2-3(Pass 側)へ接続して下さい。

(機種により JP 番号が異なる場合がありますので機器マニュアルを確認願います)

この状態でターミナルソフトからキーボードでなんらかのキーを打ち込んで下さい。打ったタイミングで LED が点滅します。打ったキーが画面上に反映されるはずですが、JP を戻すと文字は反映されません。

■ 不具合解決方法

お問い合わせの最多は、手順通りに進めていない場合の不具合です。今一度、注意深くお試し下さい。

- ・症状：アプリケーションソフトウェアで動作しない

USB 変換機の赤 LED ランプは点灯していますか？

COM ポート番号は実際と合致していますか？ デバイスマネージャーをご確認下さい。

ボーレイトなど通信条件はシステムと合致していますか？

RS232C の場合はストレートケーブルとクロスケーブルを取り違えていませんか？

RS422 の場合は送受の結線は正しいですか？ ＋は＋へ、－は－へ接続されていますか？

RS422 の場合は自機の送信＋を受信＋へ折返し接続が試せます。

RS485 の場合は＋は＋へ、－は－へ接続されていますか？

RS485 の場合は内部 JP 設定により折返し接続が試せます。マニュアルをご覧ください。

USB ケーブルを別の新しいものに取り換えてみましたか？

フリーソフト等のターミナルソフトウェアで動作を確認してみましたか？

(前述：■ 正常動作確認方法)

- ・症状：インストール後、PC 起動時だけ動作せず、USB ケーブルの抜挿で動作する。

この問題は、ご使用 PC の内蔵 COM ポートと重複しているのが原因です。COM ポート番号を変えることで解決します。詳しくは <http://blog.livedoor.jp/rs485/archives/1454153.html> をご覧下さい。COM ポート番号の変更方法は、**COM ポート**の設定をごらんください。

- ・症状：バージョンが異なっている。

上図のドライバ更新ボタンを押して再度ダウンロードしたフォルダを指定してやり直して下さい。

- ・症状：いずれのダイアログも表示されない。

既にインストールが完了している場合が多いのでデバイスマネージャで確認して見て下さい。デバイスマネージャを見ながら該当の USB 製品をゆっくり遅く（反応を待ちながら）抜き差しすることで COM 番号が判ります。

- ・症状：途中で ftdiunin.exe がインストールできない。

この場合は、本フォルダにそのファイル名があることを確認してからその場所を指定することで解決します。もしこのファイルがなければ Ver3.1 をダウンロードして解凍してからその場所を指定することで解決します。このファイルはアンインストーラです。特に必要ありませんがインストール中に尋ねられると前に進みませんのでこの処理を行います。

- ・症状：ftser2k.sys がインストールできない。

この場合は、本フォルダの i386 を指定することで解決しますが、もし AMD 製の CPU であれば amd64 を指定します。その PC の CPU を知りたければマイコンピュータアイコンのプロパティを見ると下側に表示されています。例えば Pentium だとインテルですので i386 フォルダです。

- ・症状：インストールできない。（更新ボタンなどがグレー色になっているなど）

パソコンのログイン権限が管理者（**Administrator アドミニストレーター**）ではない。管理者権限でないとドライバー類はインストールできません。管理者権限でやり直してください。

・症状：インストールエラーが発生した場合

過去にその PC で USB シリアル通信機などインストールした経緯がある場合； PC が誤認識する場合があります。その際は、手動でインストールしてください。Windows7_64bit 仮想 COM ドライバの手動インストール方法は下記に掲載しています。ご参考になれば幸いです。

<http://blog.livedoor.jp/rs485/archives/1651397.html>

・症状：正常に動作していたのに使えなくなった。

動作しない状態で全てのご使用になる USB 機器を接続して下さい。その状態でデバイスマネージャーをご覧ください。もし同じ番号の COM ポートがあればそれが原因です。同じ番号の COM ポートを削除して再度インストールしなおして下さい。それぞれ別の COM 番号になれば正常状態です。

(レジストリが壊れた、もしくは重複して COM ポート番号をアサインしたのが原因です)

サポートについて

システムサコム工業株式会社

サコムサポート

〒130-0021 東京都墨田区緑 1-22-5

州ビル 4F

TEL:03-6659-9261 FAX:03-6659-9264

E-mail: info@sacom.co.jp

URL: <http://www.sacom.com>

20191121